

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-添 1-017-03-10
提出年月日	2022年9月8日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料
その他発電用原子炉の附属施設 火災防護設備のうち
消火設備
(消火系 (ハロゲン化物消火設備 (タービン建物)))

(添付書類)

2022年9月

中国電力株式会社

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

VI-1 説明書

VI-1-1 各発電用原子炉施設に共通の説明書

VI-1-1-5 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書

VI-1-1-5-8 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設）

VI-1-1-5-8-2 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（その他発電用原子炉の附属施設（火災防護設備））

VI-6 図面

9.3 火災防護設備

9.3.2 消火設備

9.3.2.2 ハロゲン化物消火設備

9.3.2.2.4 タービン建物

- ・第9-3-2-2-4-1-1図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その1）
- ・第9-3-2-2-4-1-2図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その2）
- ・第9-3-2-2-4-1-3図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その3）
- ・第9-3-2-2-4-1-4図 消火設備に係る機器の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その4）
- ・第9-3-2-2-4-2-1図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その1）
- ・第9-3-2-2-4-2-2図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その2）
- ・第9-3-2-2-4-2-3図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その3）
- ・第9-3-2-2-4-2-4図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その4）
- ・第9-3-2-2-4-2-5図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その5）
- ・第9-3-2-2-4-2-6図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その6）
- ・第9-3-2-2-4-2-7図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その7）
- ・第9-3-2-2-4-3-1図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その1）

- ・ 第9-3-2-2-4-3-2図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その2）
- ・ 第9-3-2-2-4-3-3図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その3）
- ・ 第9-3-2-2-4-3-4図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その4）
- ・ 第9-3-2-2-4-3-5図 消火設備系統図（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（その5）
- ・ 第9-3-2-2-4-4-1図 S I ケーブルダクト室，S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ポンベ構造図
- ・ 第9-3-2-2-4-4-2図 タービン建物地下1階工具室，封水回収ポンプ室，復水系配管室用ハロゲン化物ポンベ構造図
- ・ 第9-3-2-2-4-4-3図 グランド蒸気排ガスフィルタ室，SGT配管ダクト室用ハロゲン化物ポンベ構造図
- ・ 第9-3-2-2-4-4-4図 電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ポンベ構造図
- ・ 第9-3-2-2-4-4-5図 海水配管室，TCW熱交換器室用ハロゲン化物ポンベ構造図
- ・ 第9-3-2-2-4-4-6図 タービン建物南西側階段室用ハロゲン化物ポンベ構造図

【設定根拠】（続き）

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ポンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、各消火対象区画のうち最も多くの消火剤量を必要とするポンベ個数を設置する設計とする。また、系統分離対策が必要な火災区域は、容器弁の単一故障を考慮し、消防法で要求される必要なポンベ個数*より 1 個多い 5 個のポンベを設置する設計とする。

注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。

名	称	タービン建物地下1階工具室，封水回収ポンプ室，復水系配管室用ハロゲン化物ボンベ
容	量	ℓ/個
68 以上 (68)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個	数	—
		14

【設 定 根 拠】

(概 要)

火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置するタービン建物地下1階工具室，封水回収ポンプ室，復水系配管室用ハロゲン化物ボンベは，以下の機能を有する。

ハロゲン化物ボンベは，火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう，火災の影響を限定し，早期の消火を行うために設置する。

1. 容量の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの容量は，高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから，当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。

公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。

2. 最高使用圧力の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は，ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。

3. 最高使用温度の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は，消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき，40℃とする。

【設 定 根 拠】（続き）

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、各消火対象区画のうち最も多くの消火剤量を必要とするボンベ個数*である 14 個のボンベを設置する設計とする。

注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。

名 称	グラント蒸気排ガスフィルタ室, SGT配管ダクト室用ハロゲン化物ボンベ	
容 量	ℓ/個	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個 数	—	2

【設 定 根 拠】

(概 要)

火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置するグラント蒸気排ガスフィルタ室, SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ボンベは, 以下の機能を有する。

ハロゲン化物ボンベは, 火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう, 火災の影響を限定し, 早期の消火を行うために設置する。

1. 容量の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの容量は, 高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから, 当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。

公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。

2. 最高使用圧力の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は, ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。

3. 最高使用温度の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は, 消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき, 40℃とする。

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ボンベは, 火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう, 火災の影響を限定し, 早期の消火を行うために, 各消火対象区画のうち最も多くの消火剤量を必要とするボンベ個数*である 2 個のボンベを設置する設計とする。

注記* : 消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。

名 称	電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ボンベ		
容 量	ℓ/個	24 以上 (24)	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2	
最 高 使 用 温 度	℃	40	
個 数	—	1	3

【設 定 根 拠】

(概 要)

火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ボンベは、以下の機能を有する。

ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために設置する。

1. 容量の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの容量は、高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから、当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 24ℓ/個以上、68ℓ/個以上とする。

公称値については要求される容量と同じ 24ℓ/個、68ℓ/個とする。

2. 最高使用圧力の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は、ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。

3. 最高使用温度の設定根拠

ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は、消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき、40℃とする。

4. 個数の設定根拠

ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、各消火対象区画のうち最も多くの消火剤量を必要とするボンベ個数*である 24ℓ容器 1 個、68ℓ容器 3 個のボンベを設置する設計とする。

注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。

名 称	海水配管室, TCW熱交換器室用ハロゲン化物ポンベ	
容 量	ℓ/個	68 以上 (68)
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個 数	—	20
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置する海水配管室, TCW 熱交換器室用ハロゲン化物ポンベは, 以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ポンベは, 火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう, 火災の影響を限定し, 早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠 ハロゲン化物ポンベの容量は, 高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ポンベを使用することから, 当該ポンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠 ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力は, ポンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠 ハロゲン化物ポンベの最高使用温度は, 消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき, 40℃とする。</p> <p>4. 個数の設定根拠 ハロゲン化物ポンベは, 火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう, 火災の影響を限定し, 早期の消火を行うために, 消防法で要求される必要なポンベ個数*である 20 個のポンベを設置する設計とする。</p> <p>注記* : 消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。</p>		

名	称	タービン建物南西側階段室用ハロゲン化物ボンベ
容	量	ℓ/個
68 以上 (68)		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
個	数	—
3		
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>火災時に煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難なところに設置するタービン建物南西側階段室用ハロゲン化物ボンベは、以下の機能を有する。</p> <p>ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために設置する。</p> <p>1. 容量の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの容量は、高圧ガス保安法の適合品である一般汎用品型のハロゲン化物ボンベを使用することから、当該ボンベの容量はメーカーにて定めた容量である 68ℓ/個以上とする。</p> <p>公称値については要求される容量と同じ 68ℓ/個とする。</p> <p>2. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力は、ボンベを設置する場所の周囲最高温度 40℃における容器内圧と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>3. 最高使用温度の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベの最高使用温度は、消防法施行規則第 20 条第 4 項第四号に基づき、40℃とする。</p> <p>4. 個数の設定根拠</p> <p>ハロゲン化物ボンベは、火災により発電用原子炉施設の安全性が損なわれないよう、火災の影響を限定し、早期の消火を行うために、消防法で要求される必要なボンベ個数*である 3 個のボンベを設置する設計とする。</p> <p>注記*：消防法施行規則第 20 条第 3 項において定められている消火に必要な消火剤量により算出。</p>		

名	称	S I ケーブルダクト室, S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外	径	mm
		42.7
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は, S I ケーブルダクト室, S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管であり, S I ケーブルダクト室, S II ケーブルダクト室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1, 最高使用温度の設定根拠を T 1, 外径の設定根拠を D 1 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2. 1. 1. 2. 4-1 ハロゲン化物消火設備 (タービン建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, S I ケーブルダクト室, S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, S I ケーブルダクト室, S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 1 : 42.7mm</u></p> <p>本配管の外径は, 噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 42.7mm とする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称	SⅡケーブルダクト室供給ライン分岐点 ～ SⅡケーブルダクト室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、SⅠケーブルダクト室、SⅡケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管とSⅡケーブルダクト室を接続する配管であり、SⅡケーブルダクト室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD1として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.4-1ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、SⅠケーブルダクト室、SⅡケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、SⅠケーブルダクト室、SⅡケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D1 : 42.7mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称		S I ケーブルダクト室供給ライン分岐点 ～ S I ケーブルダクト室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、S I ケーブルダクト室、S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管と S I ケーブルダクト室を接続する配管であり、S I ケーブルダクト室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1、最高使用温度の設定根拠を T 1、外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.4-1 ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、S I ケーブルダクト室、S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、S I ケーブルダクト室、S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 2 : 34.0mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 34.0mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名	称	タービン建物地下1階工具室，封水回収ポンプ室，復水系配管室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外	径	mm
		76.3/114.3
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は，タービン建物地下1階工具室，封水回収ポンプ室，復水系配管室用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管であり，タービン建物地下1階工具室，封水回収ポンプ室，復水系配管室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1，最高使用温度の設定根拠をT1，外径の設定根拠をD3，D4として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.4-1ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は，タービン建物地下1階工具室，封水回収ポンプ室，復水系配管室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は，タービン建物地下1階工具室，封水回収ポンプ室，復水系配管室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D 3 : 76.3mm

D 4 : 114.3mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*¹及び消火に必要なハロン1301ガス量*²を30秒以内*³に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mm, 114.3mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		タービン建物地下1階工具室供給ライン分岐点 ～ タービン建物地下1階工具室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	60.5/42.7
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、タービン建物地下1階工具室、封水回収ポンプ室、復水系配管室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管とタービン建物地下1階工具室を接続する配管であり、タービン建物地下1階工具室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD1、D5として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.4-1ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、タービン建物地下1階工具室、封水回収ポンプ室、復水系配管室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、タービン建物地下1階工具室、封水回収ポンプ室、復水系配管室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D1 : 42.7mm

D5 : 60.5mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 60.5mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		封水回収ポンプ室供給ライン分岐点 ～ 封水回収ポンプ室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	114.3
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、タービン建物地下1階工具室、封水回収ポンプ室、復水系配管室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と封水回収ポンプ室を接続する配管であり、封水回収ポンプ室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD4として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.4-1ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、タービン建物地下1階工具室、封水回収ポンプ室、復水系配管室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、タービン建物地下1階工具室、封水回収ポンプ室、復水系配管室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D4 : 114.3mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称		復水系配管室供給ライン分岐点 ～ 復水系配管室
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2
最 高 使 用 温 度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、タービン建物地下1階工具室、封水回収ポンプ室、復水系配管室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と復水系配管室を接続する配管であり、復水系配管室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠をP1、最高使用温度の設定根拠をT1、外径の設定根拠をD3として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表2.1.1.2.4-1ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、タービン建物地下1階工具室、封水回収ポンプ室、復水系配管室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、タービン建物地下1階工具室、封水回収ポンプ室、復水系配管室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D3 : 76.3mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。</p>		

名	称	グラント蒸気排ガスフィルタ室, SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外	径	mm
		34.0
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は、グラント蒸気排ガスフィルタ室, SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管であり、グラント蒸気排ガスフィルタ室, SGT 配管ダクト室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1, 最高使用温度の設定根拠を T 1, 外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.4-1 ハロゲン化物消火設備 (タービン建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、グラント蒸気排ガスフィルタ室, SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、グラント蒸気排ガスフィルタ室, SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 2 : 34.0mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 34.0mm とする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称		グラウンド蒸気排ガスフィルタ室供給ライン分岐点 ～ グラウンド蒸気排ガスフィルタ室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、グラウンド蒸気排ガスフィルタ室、SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ポンベのヘッド管とグラウンド蒸気排ガスフィルタ室を接続する配管であり、グラウンド蒸気排ガスフィルタ室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.4-1 ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、グラウンド蒸気排ガスフィルタ室、SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、グラウンド蒸気排ガスフィルタ室、SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 2 : 34.0mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 34.0mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名 称	SGT 配管ダクト室供給ライン分岐点 ～ SGT 配管ダクト室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	34.0
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、グラウンド蒸気排ガスフィルタ室、SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ポンベのヘッド管と SGT 配管ダクト室を接続する配管であり、SGT 配管ダクト室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.4-1 ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、グラウンド蒸気排ガスフィルタ室、SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、グラウンド蒸気排ガスフィルタ室、SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 2 : 34.0mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 34.0mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名	称	電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外	径	mm
		48.6
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は、電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ボンベのヘッダ管であり、電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 6 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.4-1 ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 6 : 48.6mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 48.6mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

名	称	電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室供給ライン 分岐点 ～ 電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室	
最高使用圧力	MPa	5.2	
最高使用温度	℃	40	
外	径	mm	34.0
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は、電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ポンベのヘッダ管と電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室を接続する配管であり、電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 2 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.4-1 ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>			

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D2 : 34.0mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*¹及び消火に必要なハロン1301ガス量*²を30秒以内*³に放射可能であることをメーカーにて確認している34.0mmとする。

注記*¹：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*²：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*³：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称	海水配管室, TCW 熱交換器室用ハロゲン化物ポンベ ～ TCW 熱交換器室, 海水配管室	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3/114.3
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は, 海水配管室, TCW 熱交換器室用ハロゲン化物ポンベと TCW 熱交換器室, 海水配管室を接続する配管であり, TCW 熱交換器室, 海水配管室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1, 最高使用温度の設定根拠を T 1, 外径の設定根拠を D 3, D 4 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.4-1 ハロゲン化物消火設備 (タービン建物) 主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は, 海水配管室, TCW 熱交換器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は, 海水配管室, TCW 熱交換器室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p>		

【設定根拠】（続き）

3. 外径の設定根拠

(1) 配管

D3 : 76.3mm

D4 : 114.3mm

本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mm, 114.3mmとする。

注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。

*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。

*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間。

名 称		タービン建物南西側階段室用ハロゲン化物ポンベ ～ タービン建物南西側階段室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	48.6
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <p>本配管は、タービン建物南西側階段室用ハロゲン化物ポンベとタービン建物南西側階段室を接続する配管であり、タービン建物南西側階段室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>本配管の最高使用圧力の設定根拠を P 1，最高使用温度の設定根拠を T 1，外径の設定根拠を D 6 として以下に示す。</p> <p>消火系主配管の設計仕様を表 2.1.1.2.4-1 ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表に示す。</p> <p>1. 最高使用圧力の設定根拠</p> <p><u>P 1 : 5.2MPa</u></p> <p>本配管の最高使用圧力は、タービン建物南西側階段室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 5.2MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度の設定根拠</p> <p><u>T 1 : 40℃</u></p> <p>本配管の最高使用温度は、タービン建物南西側階段室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃ とする。</p> <p>3. 外径の設定根拠</p> <p>(1) 配管</p> <p><u>D 6 : 48.6mm</u></p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を 0.9MPa 以上*1 及び消火に必要なハロン 1301 ガス量*2 を 30 秒以内*3 に放射可能であることをメーカーにて確認している 48.6mm とする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力。</p> <p>*2：消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量。</p> <p>*3：消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間。</p>		

表 2.1.1.2.4-1 ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表（その1）

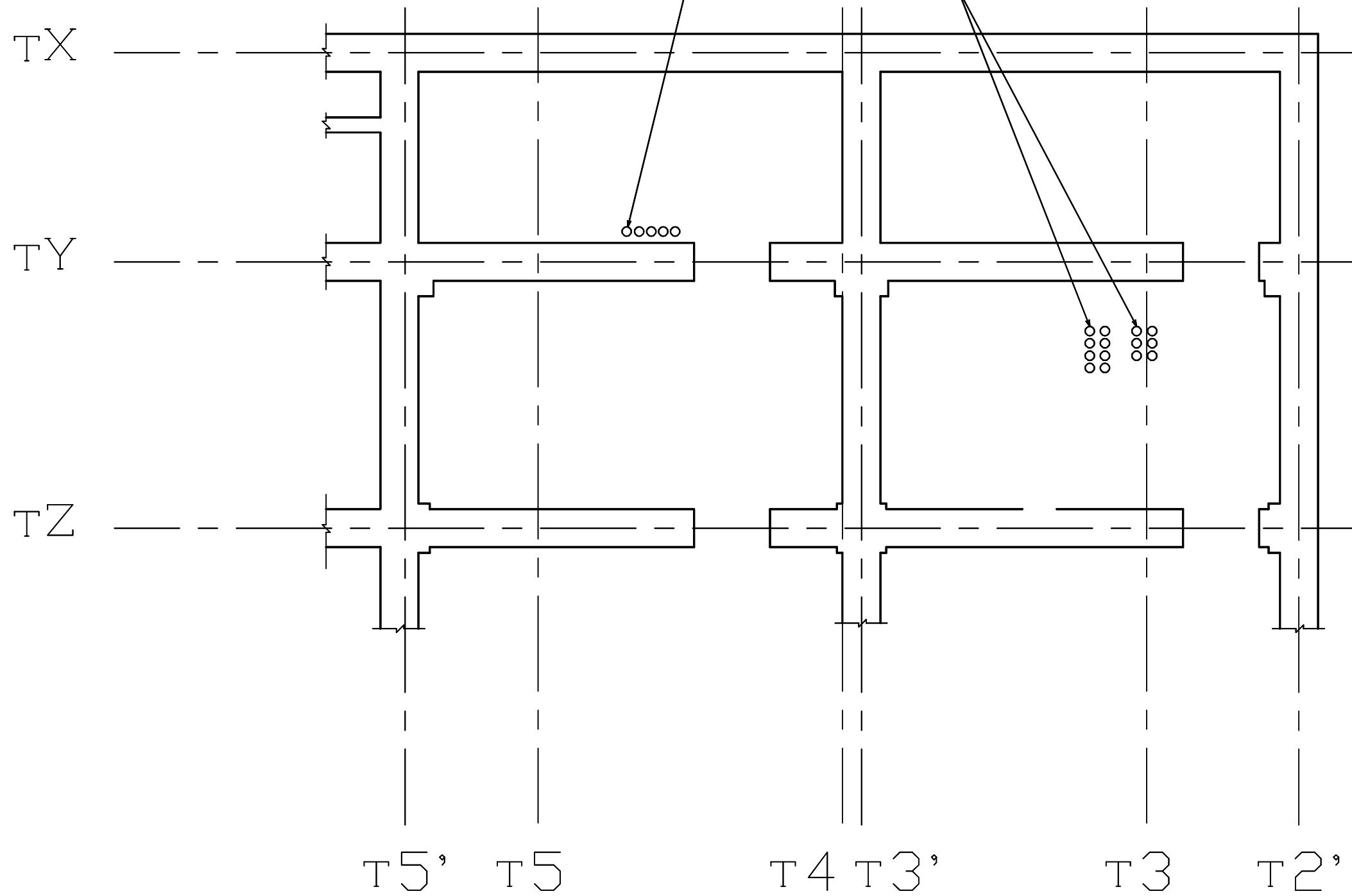
名 称	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)		外 径 (mm)	
	設定値	根拠	設定値	根拠	設定値	根拠
S I ケーブルダクト室, S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管	5.2	P 1	40	T 1	42.7	D 1
S II ケーブルダクト室供給ライン分岐点 ～ S II ケーブルダクト室	5.2	P 1	40	T 1	42.7	D 1
S I ケーブルダクト室供給ライン分岐点 ～ S I ケーブルダクト室	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
タービン建物地下1階工 具室, 封水回収ポンプ 室, 復水系配管室用ハロ ゲン化物ボンベ出口ヘッ ダ管	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 3
					114.3	D 4
タービン建物地下1階工 具室供給ライン分岐点 ～ タービン建物地下1階工 具室	5.2	P 1	40	T 1	60.5	D 5
					42.7	D 1
封水回収ポンプ室供給ラ イン分岐点 ～ 封水回収ポンプ室	5.2	P 1	40	T 1	114.3	D 4
復水系配管室供給ライン 分岐点 ～ 復水系配管室	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 3

表 2.1.1.2.4-1 ハロゲン化物消火設備（タービン建物）主配管の設計仕様表（その2）

名 称	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)		外 径 (mm)		
	設定値	根拠	設定値	根拠	設定値	根拠	
消 火 系	グラント蒸気排ガスフィルタ室, SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ポンベ出口ヘッダ管	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
	グラント蒸気排ガスフィルタ室供給ライン分岐点～グラント蒸気排ガスフィルタ室	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
	SGT 配管ダクト室供給ライン分岐点～SGT 配管ダクト室	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
	電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ポンベ出口ヘッダ管	5.2	P 1	40	T 1	48.6	D 6
	電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室供給ライン分岐点～電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室	5.2	P 1	40	T 1	34.0	D 2
	海水配管室, TCW 熱交換器室用ハロゲン化物ポンベ～TCW 熱交換器室, 海水配管室	5.2	P 1	40	T 1	76.3	D 3
						114.3	D 4
	タービン建物南西側階段室用ハロゲン化物ポンベ～タービン建物南西側階段室	5.2	P 1	40	T 1	48.6	D 6

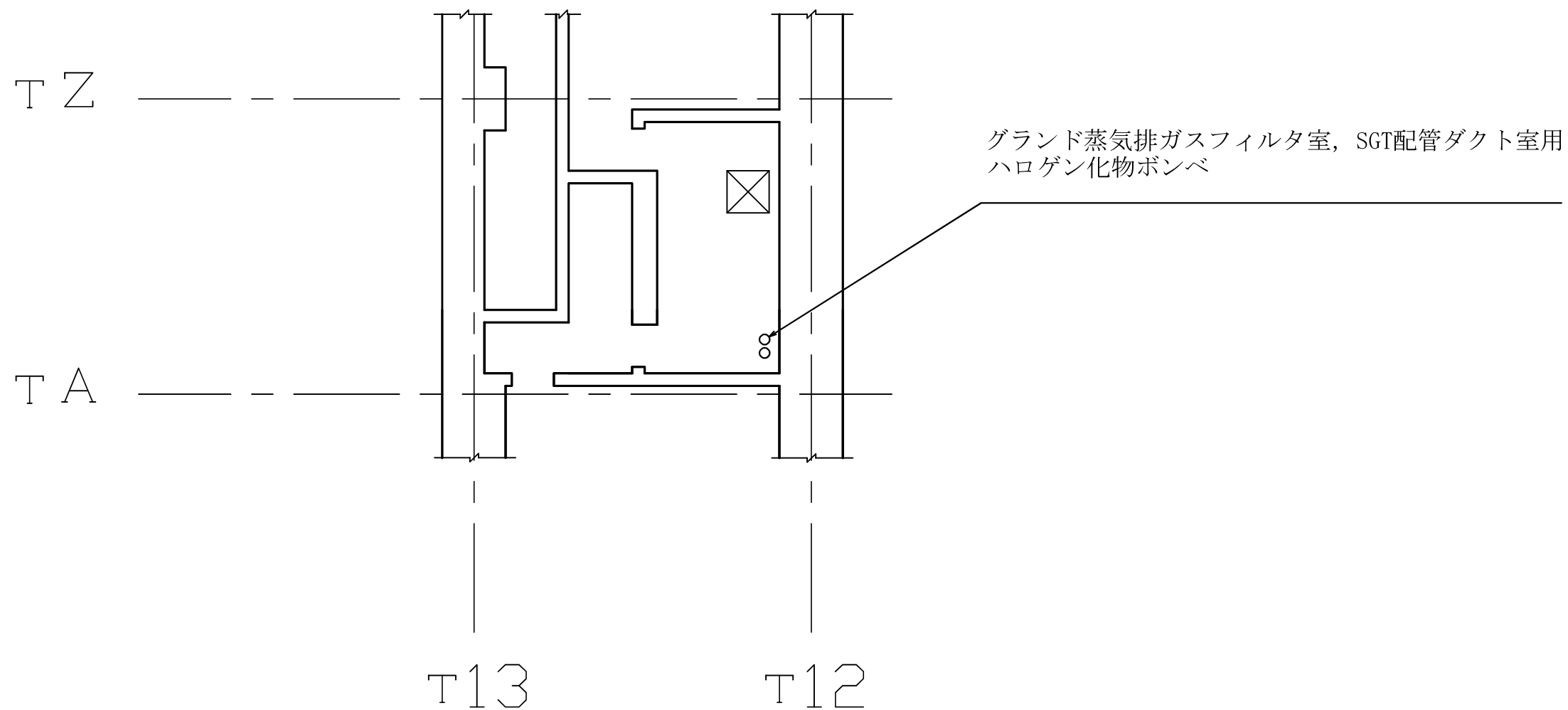
SIケーブルダクト室, SIIケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベ

タービン建物地下1階工具室, 封水回収ポンプ室,
復水系配管室用ハロゲン化物ボンベ



タービン建物 EL 2000

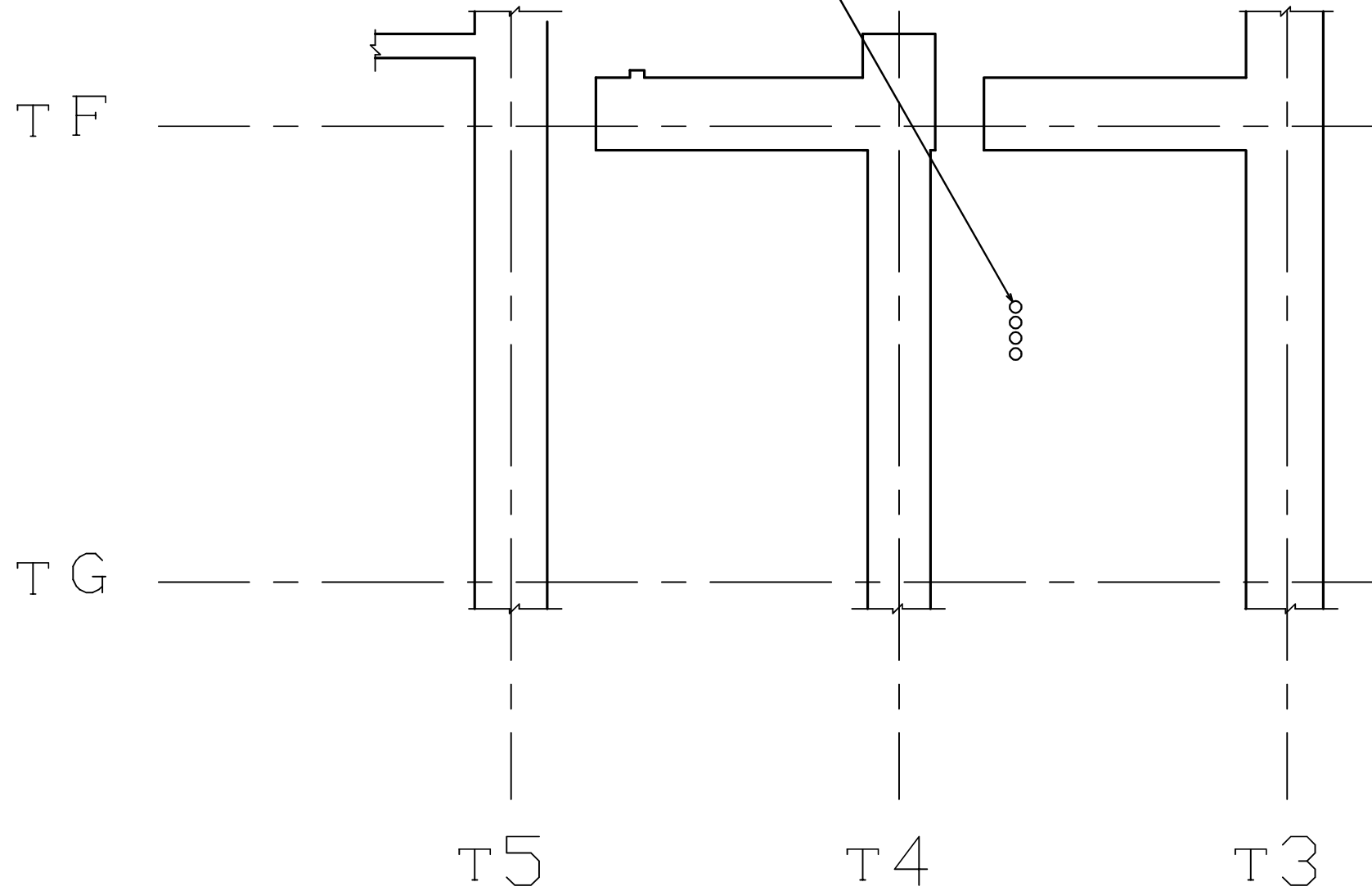
工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-1-1図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (タービン建物)) (その1)
中国電力株式会社	



タービン建物 EL 8100

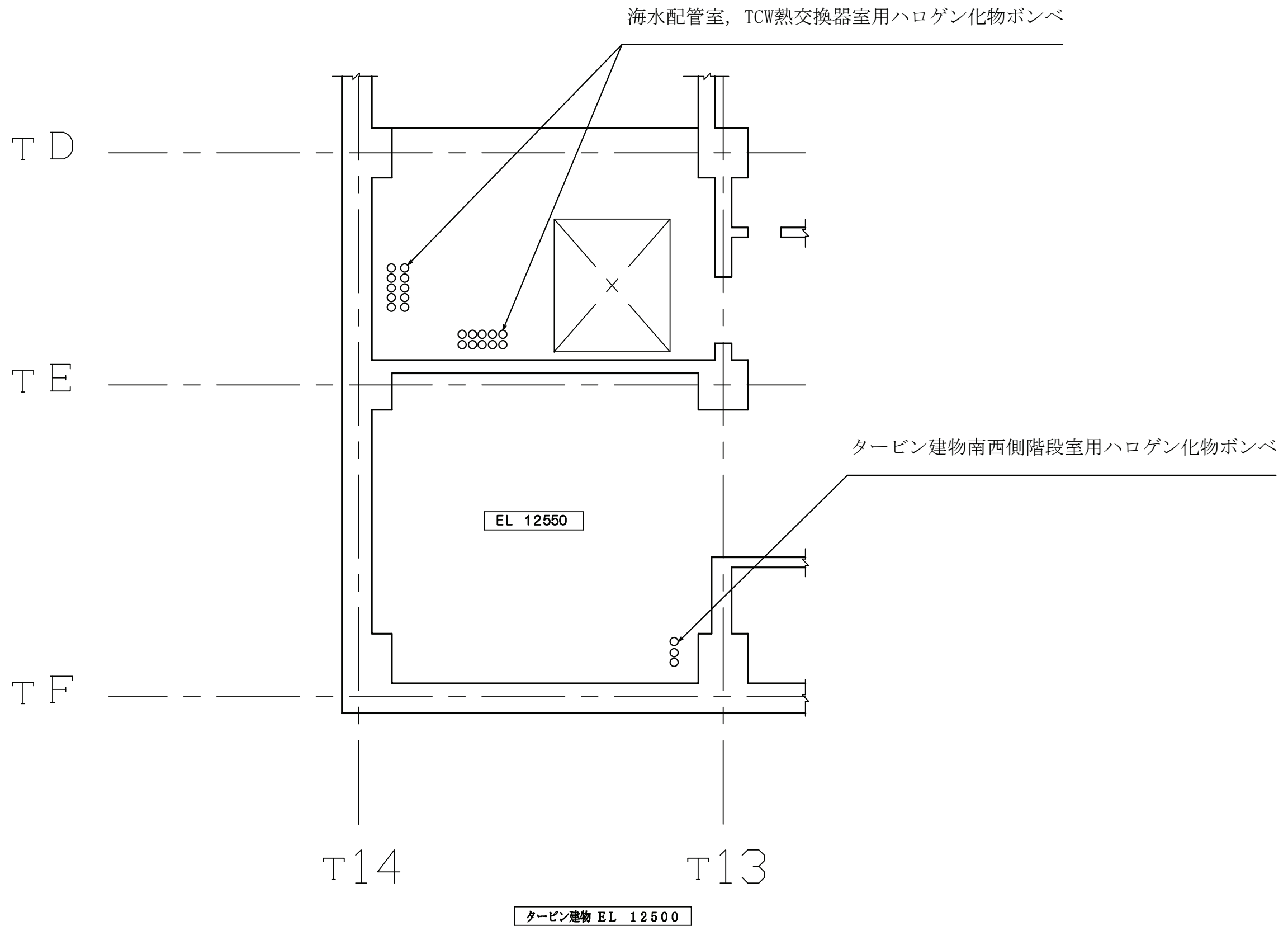
工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-1-2図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (タービン建物)) (その2)
中国電力株式会社	

電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ボンベ

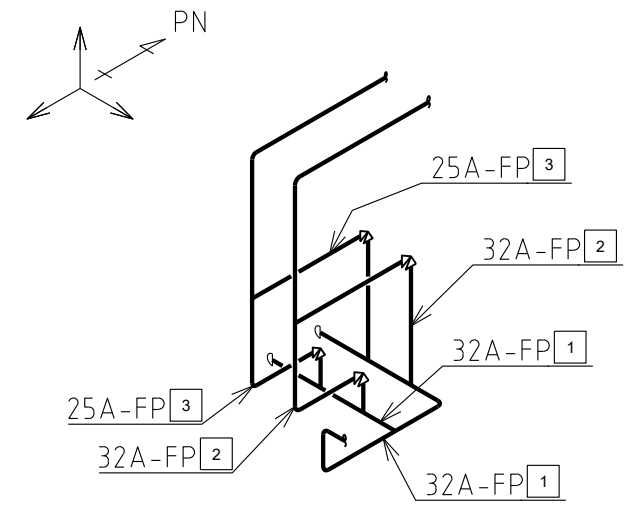
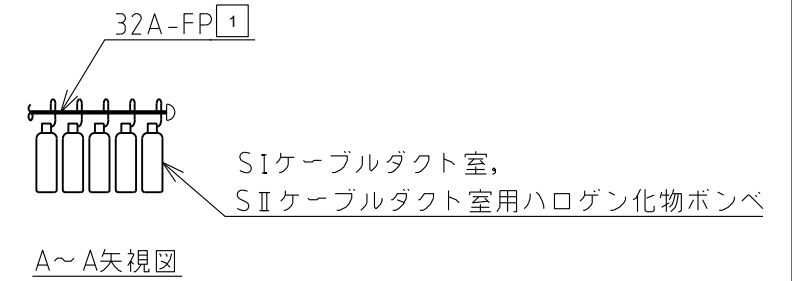
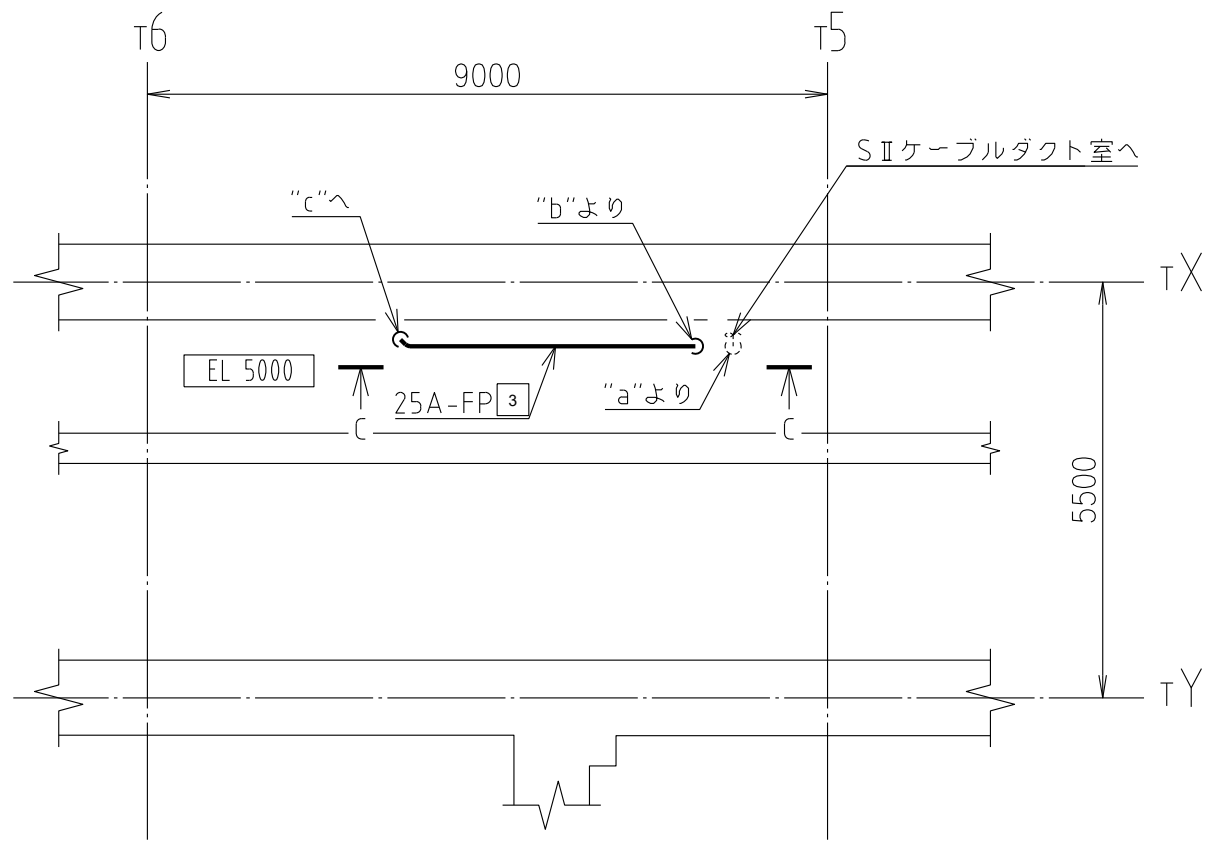
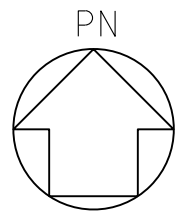


タービン建物 EL 12500

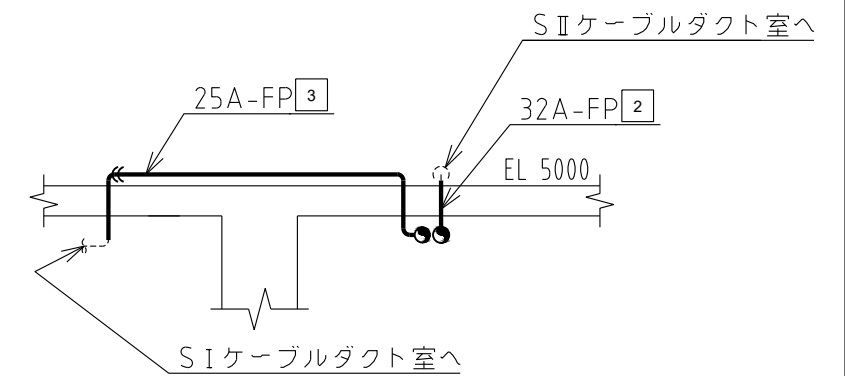
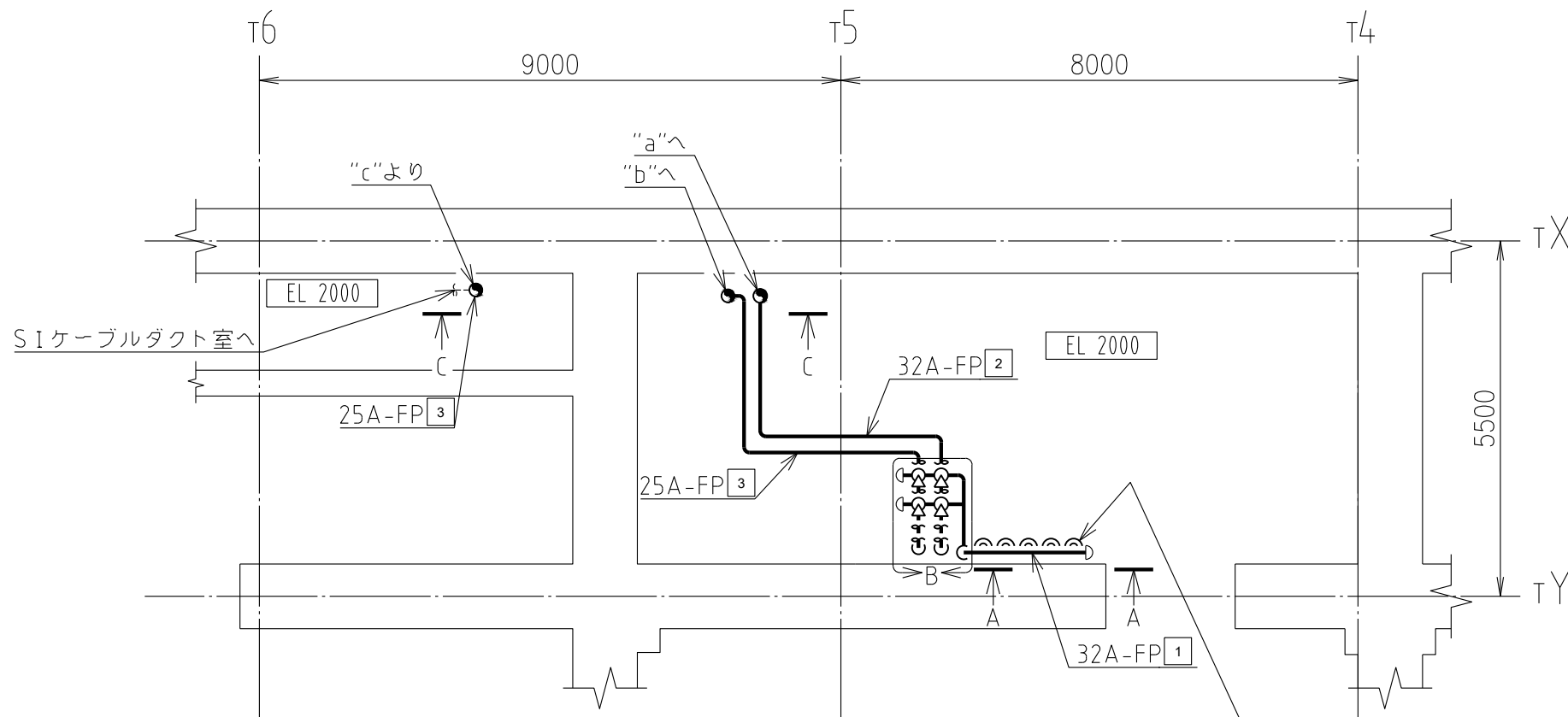
工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-1-3図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (タービン建物)) (その3)
中国電力株式会社	



工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-1-4図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る機器の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備 (タービン建物)) (その4)
中国電力株式会社	



B部詳細図



C~C矢視図

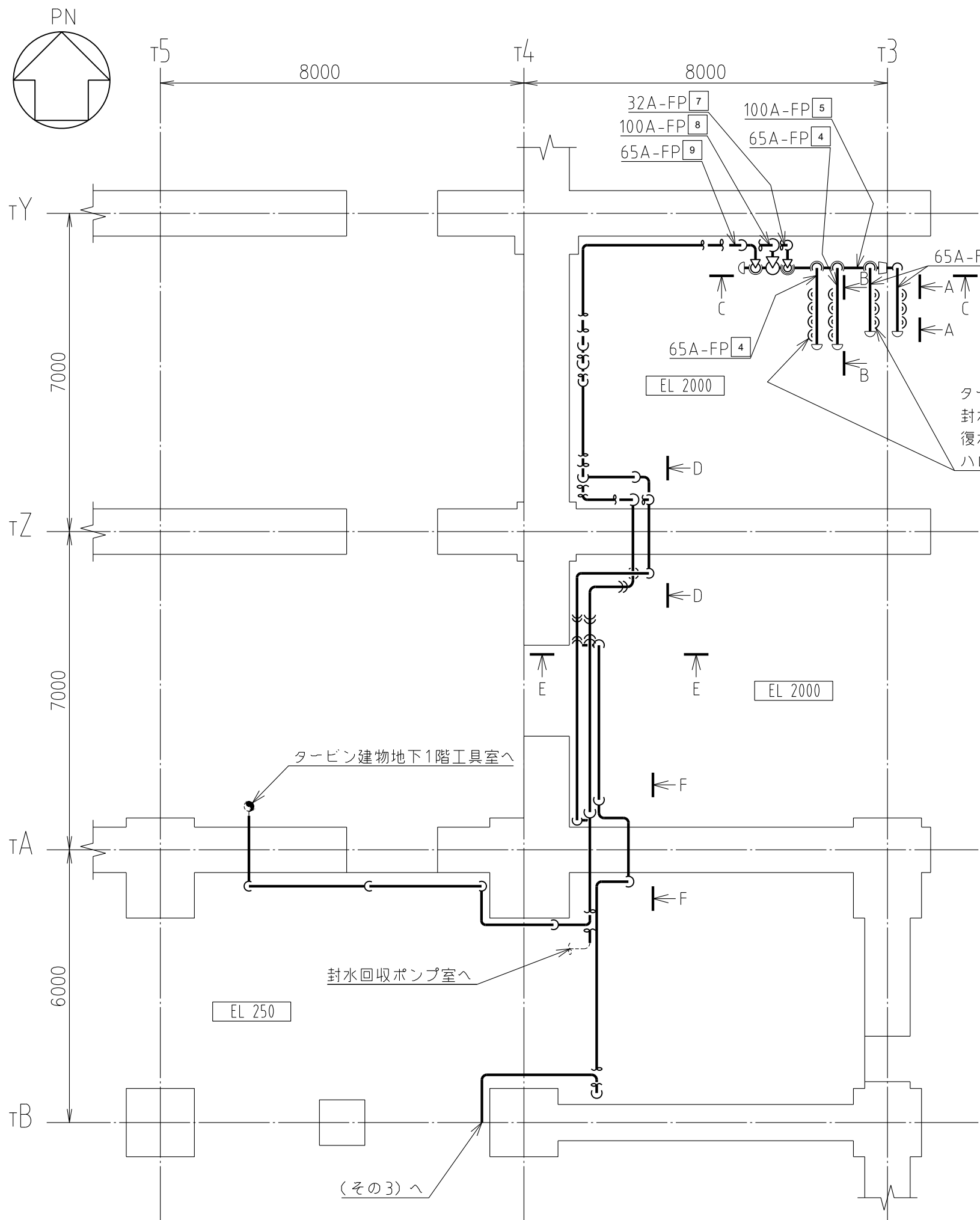
S Iケーブルダクト室,
S IIケーブルダクト室用ハロゲン化物ボンベ

注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

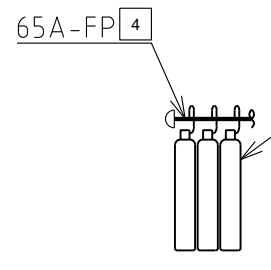
タービン建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-2-1図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その1)

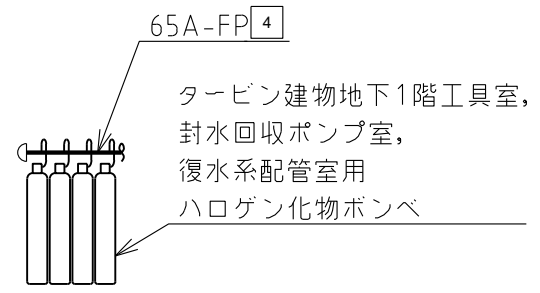
中国電力株式会社



タービン建物地下1階工具室,
封水回収ポンプ室,
復水系配管室用
ハロゲン化物ポンベ

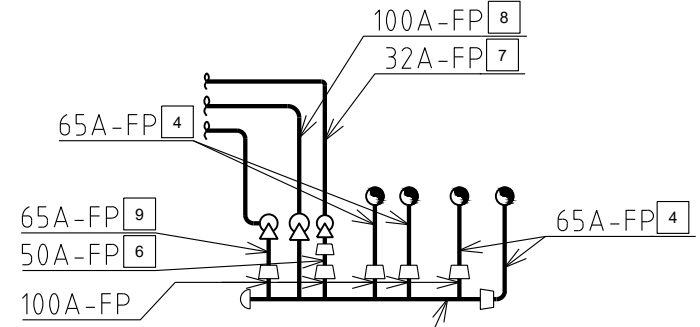


A~A矢視図
(T.Y.P)

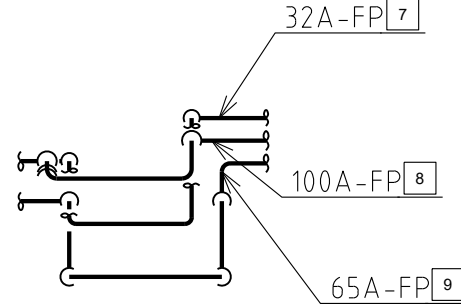


B~B矢視図
(T.Y.P)

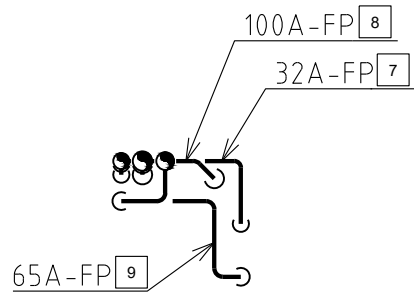
タービン建物地下1階工具室,
封水回収ポンプ室,
復水系配管室用
ハロゲン化物ポンベ



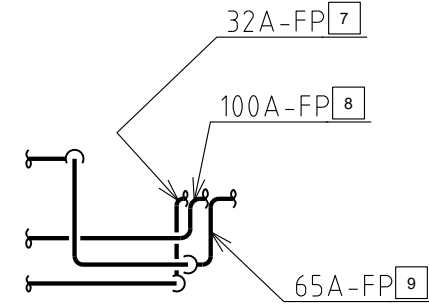
C~C矢視図



D~D矢視図



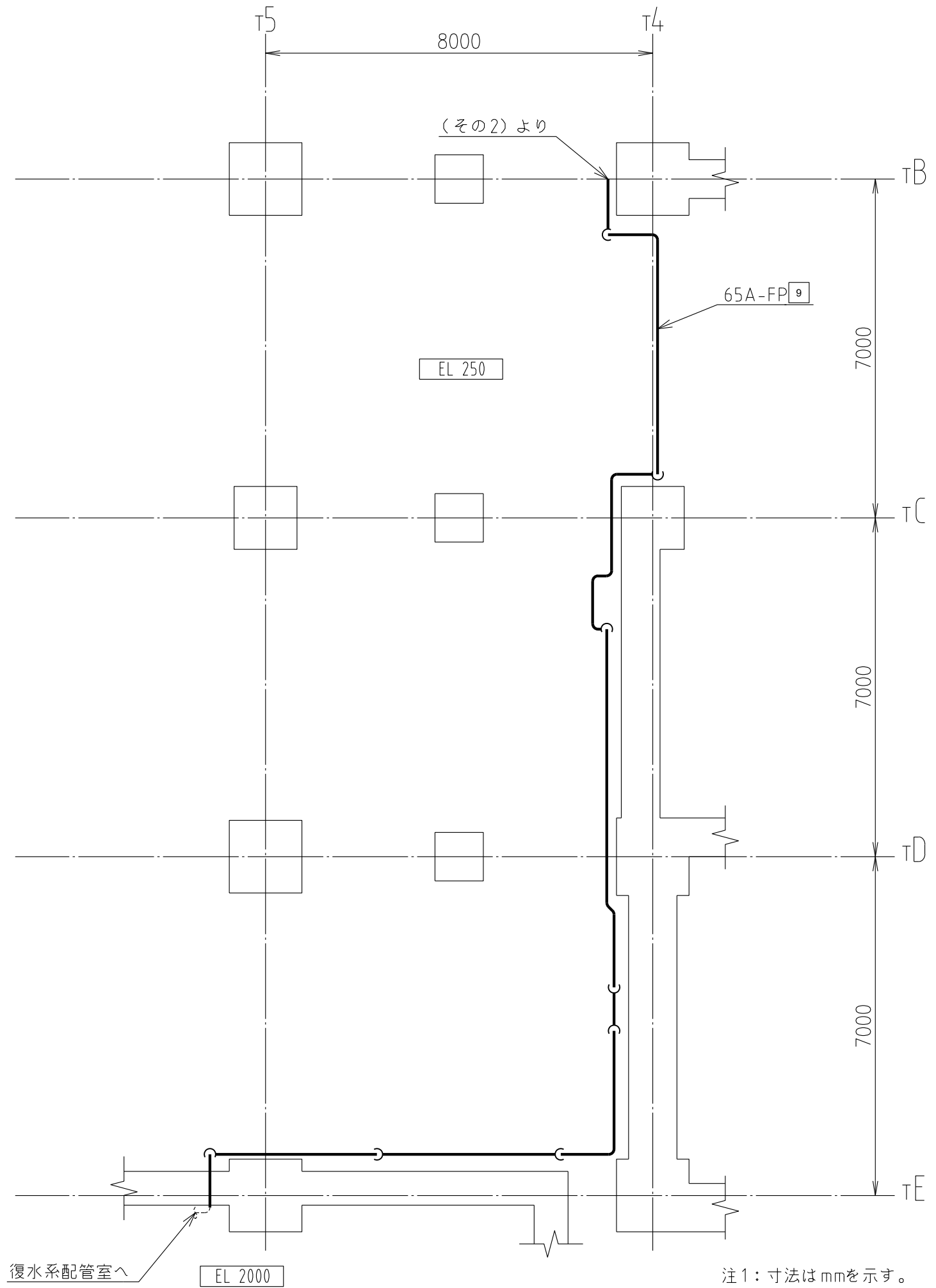
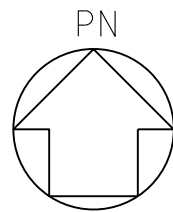
E~E矢視図



F~F矢視図

注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

タービン建物	
工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-2-2図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その2)
中国電力株式会社	



復水系配管室へ

EL 2000

EL 250

65A-FP 9

8000

7000

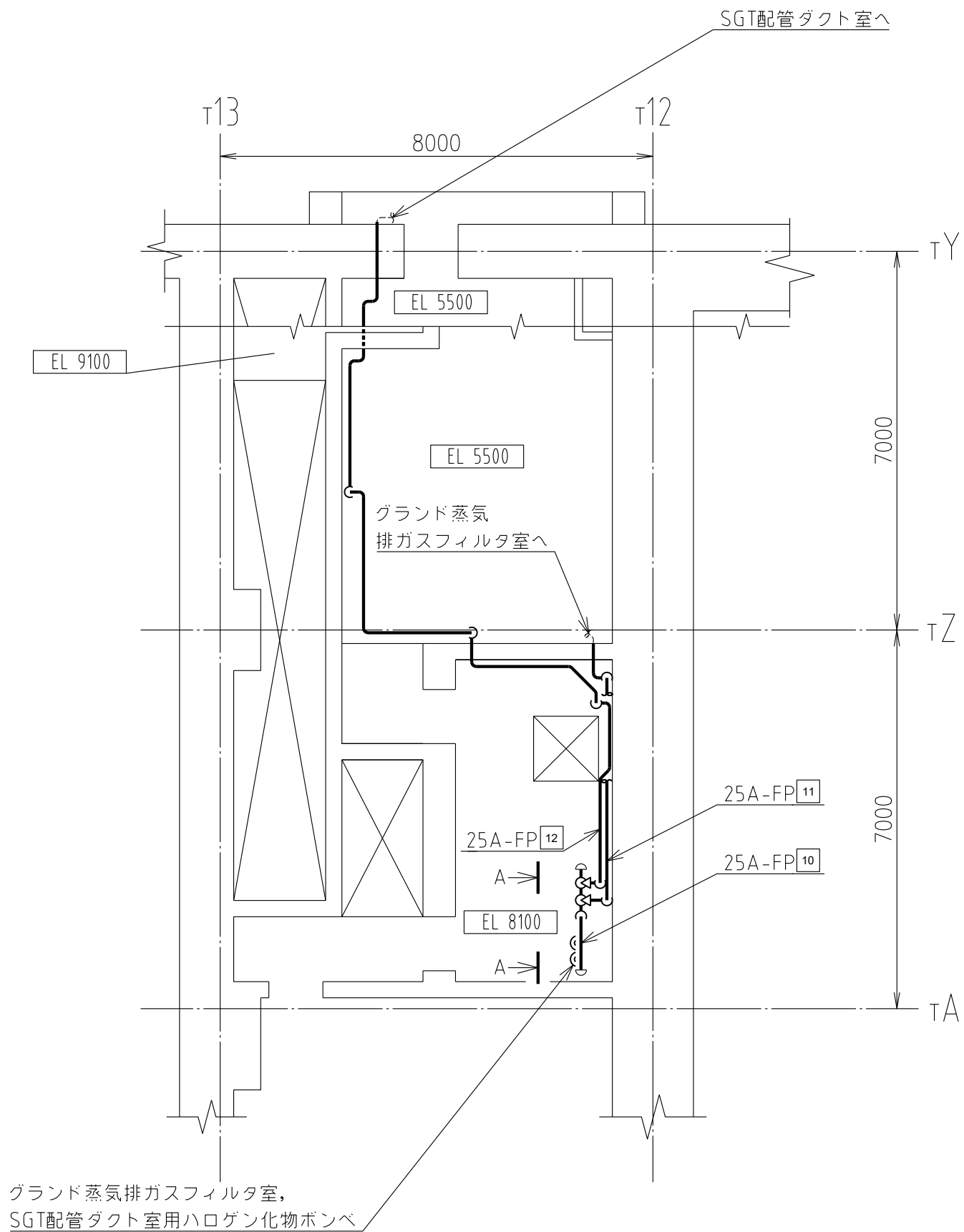
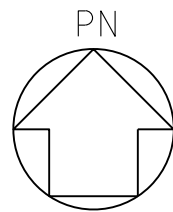
7000

7000

注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

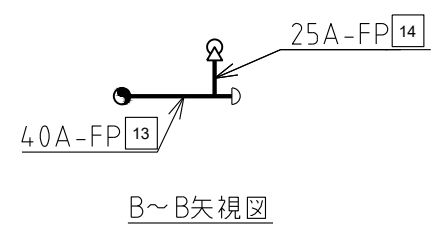
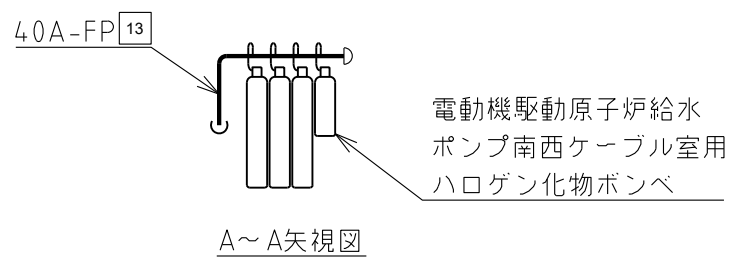
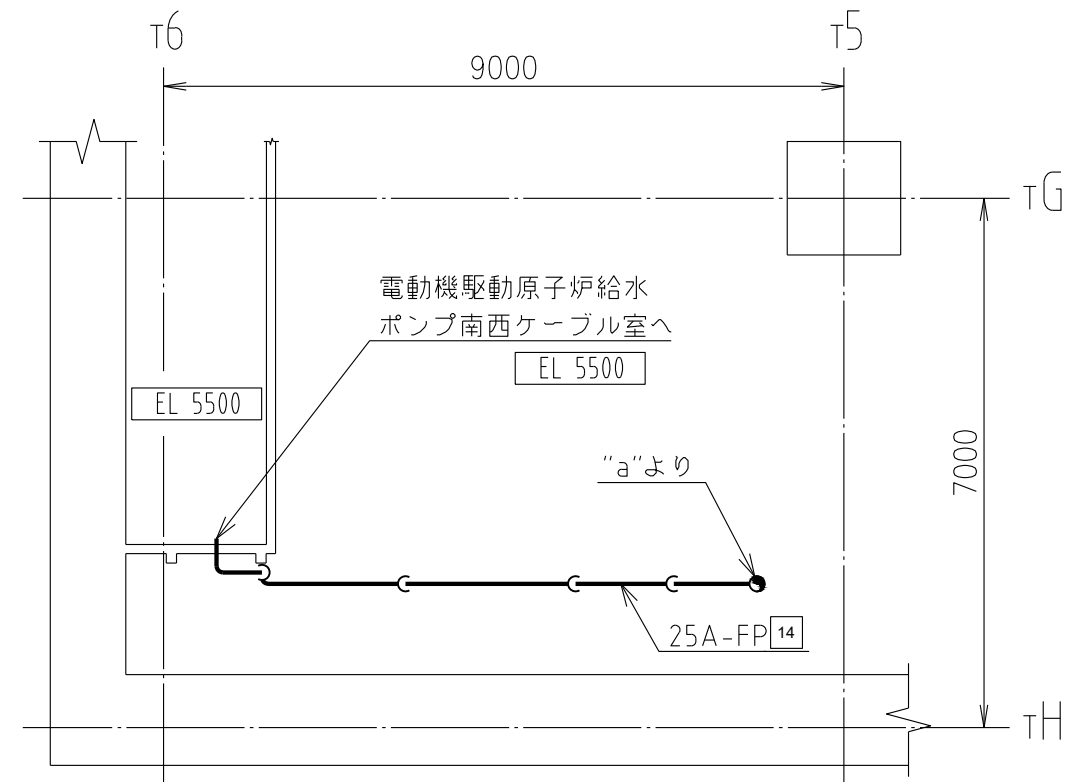
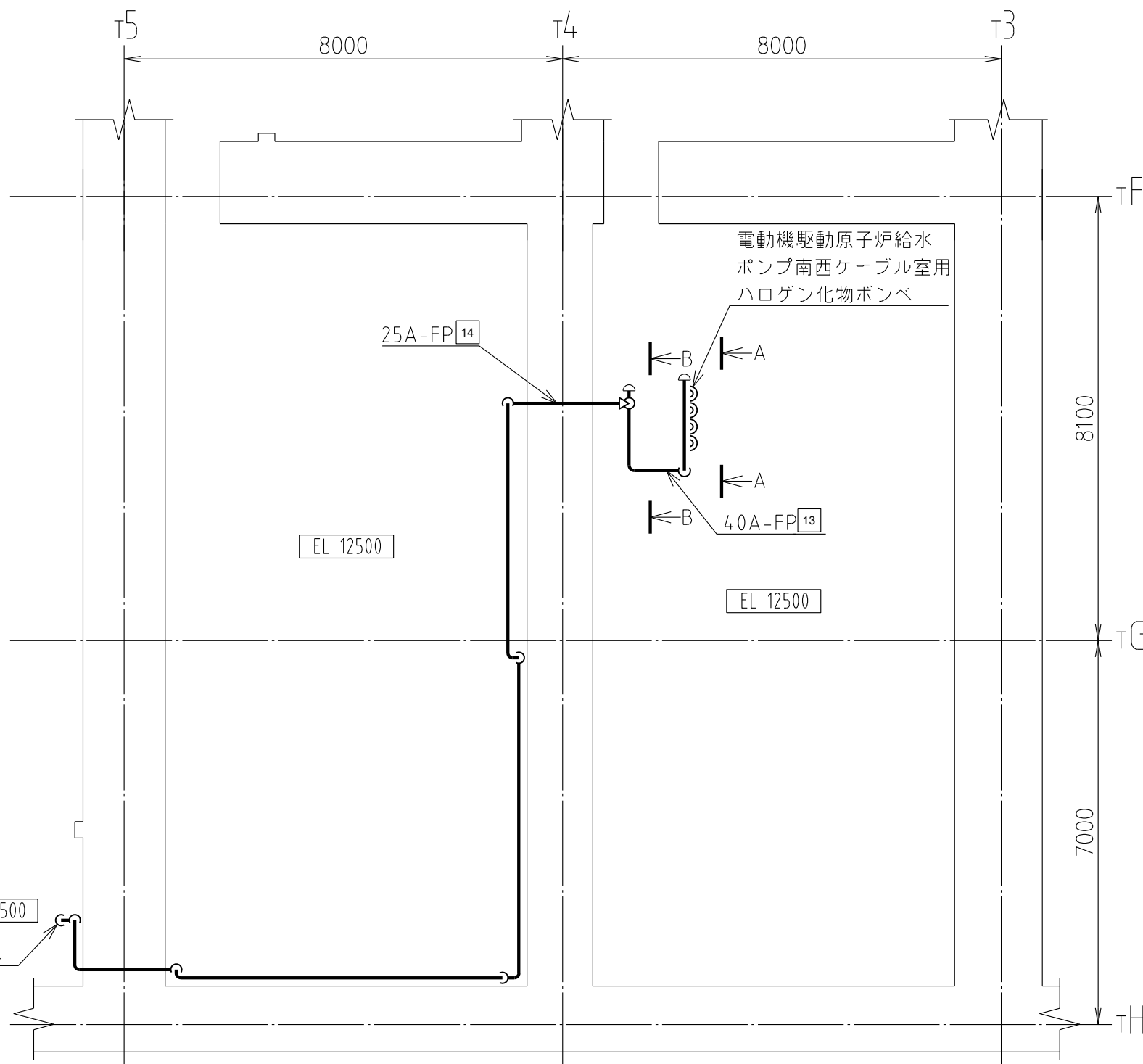
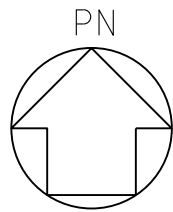
タービン建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-2-3 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その3)
中国電力株式会社	



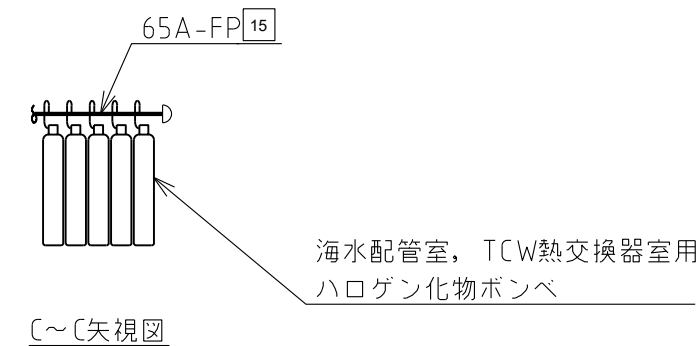
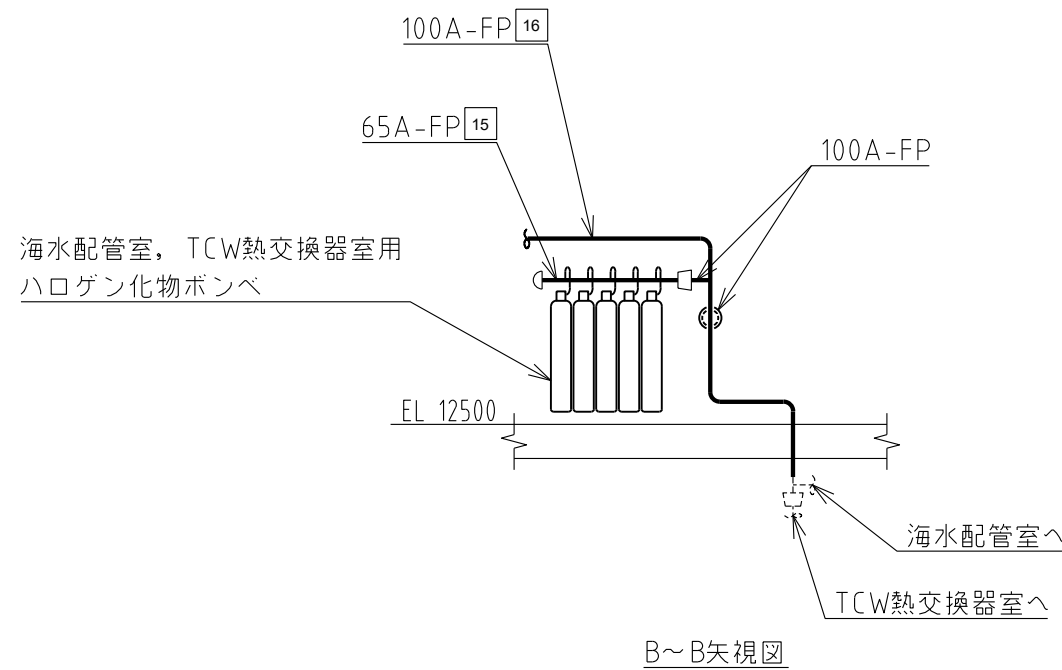
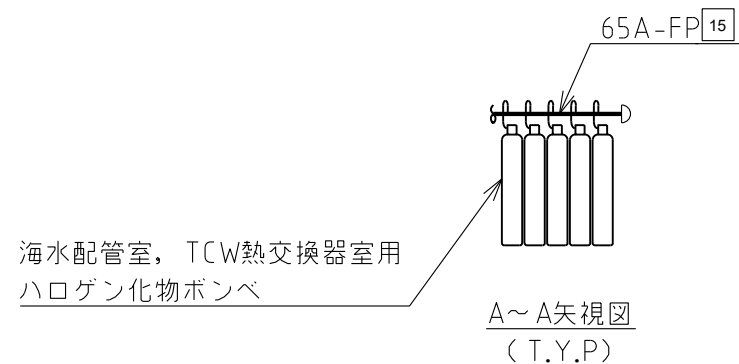
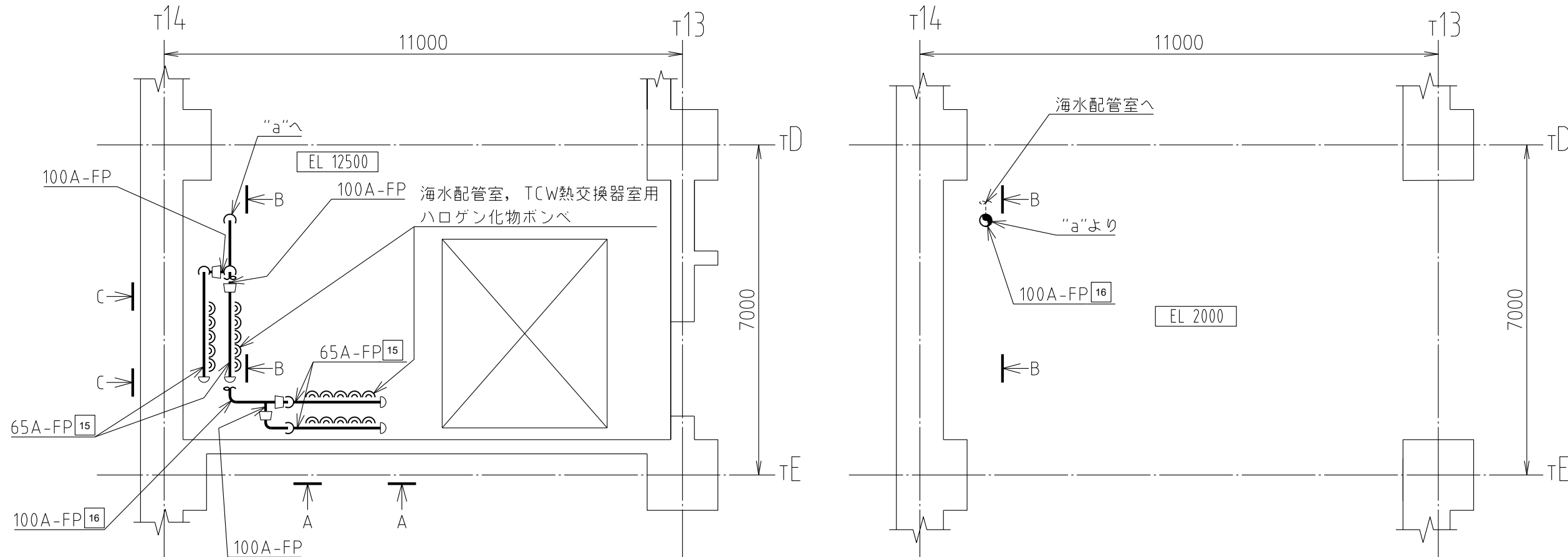
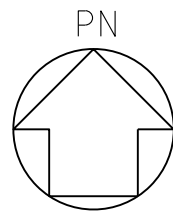
タービン建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-2-4 図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その4)
中国電力株式会社	



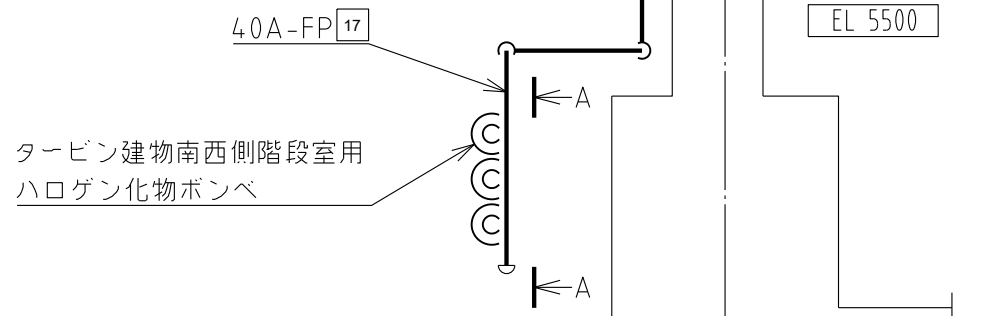
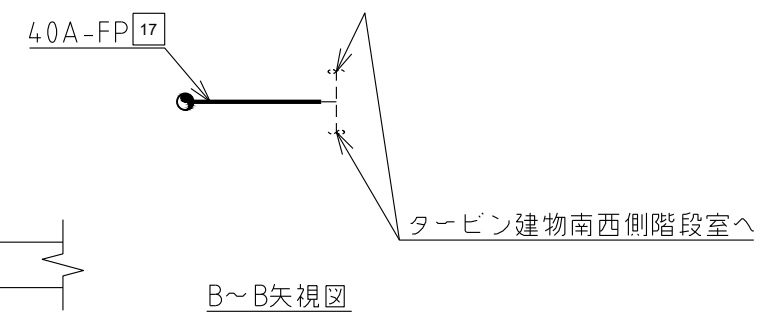
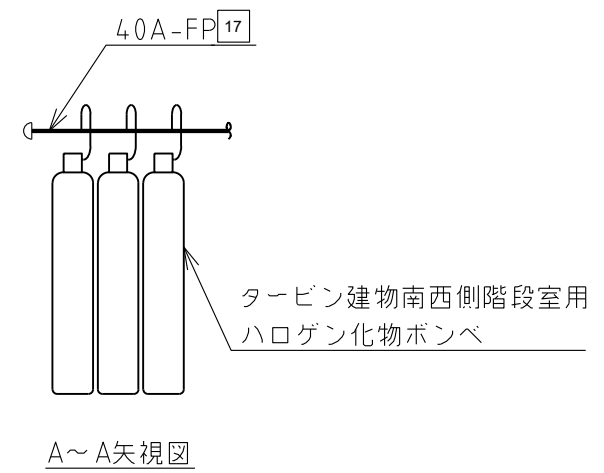
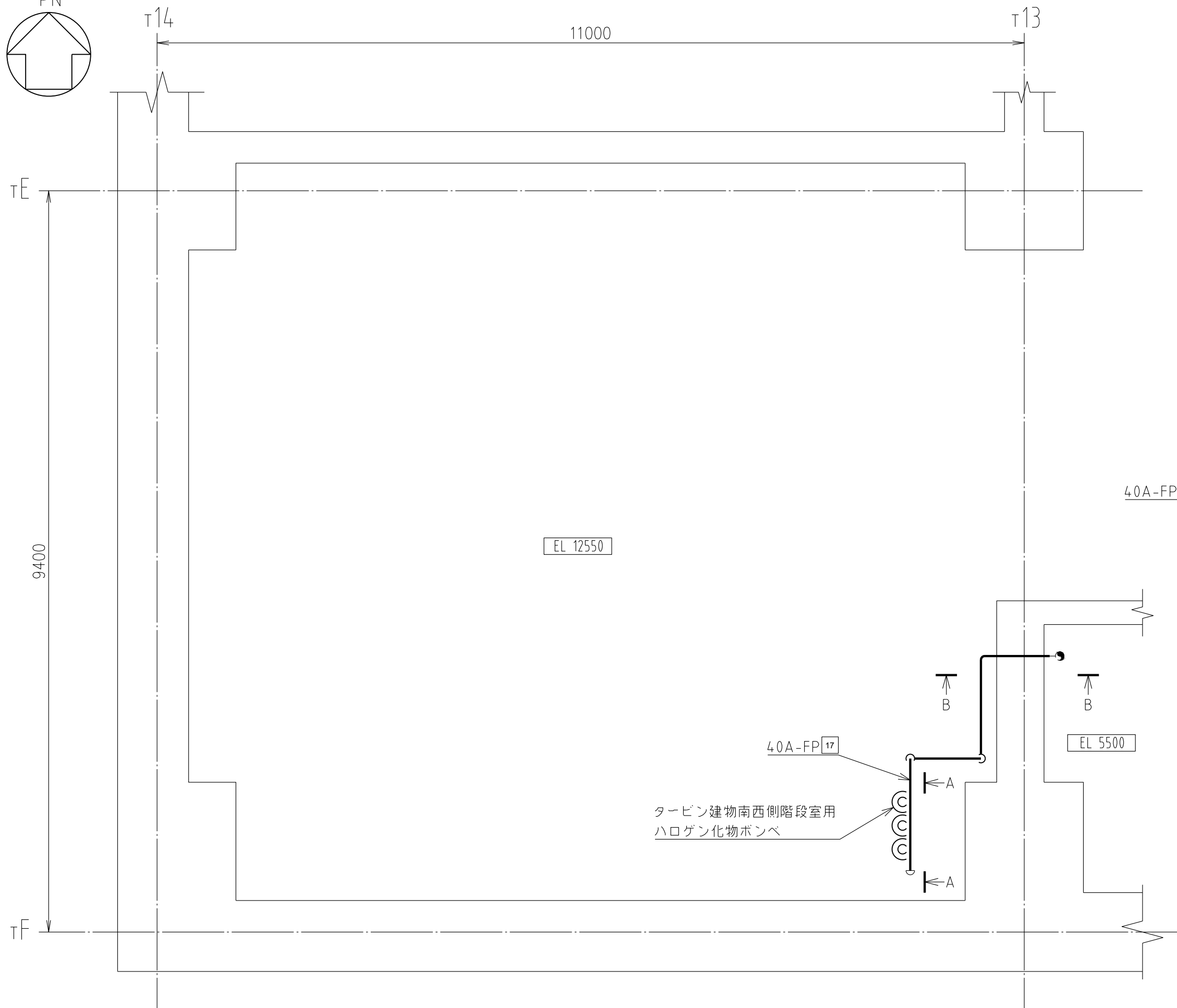
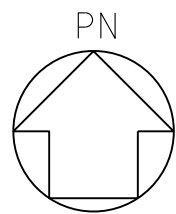
注1: 寸法はmmを示す。
 注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

タービン建物	
工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-2-5図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その5)
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-LJ05 2713



注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

タービン建物	
工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-2-6図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その6)
中国電力株式会社	



タービン建物

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-2-7図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	消火設備に係る主配管の配置を明示した図面 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その7)

中国電力株式会社

注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の四角内番号は別紙1のNO.を示す。

第 9-3-2-2-4-2-1~7 図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物）） 別紙 1
 工事計画抜粋

変 更 前						変 更 後						NO. *2	
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料		
—						消 火 系	S I ケーブルダクト 室, S II ケーブルダク ト室用ハロゲン化物 ボンベ出口ヘッダ管	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP	1
							S II ケーブルダクト室 供給ライン分岐点 ～ S II ケーブルダクト室	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP	2
							S I ケーブルダクト室 供給ライン分岐点 ～ S I ケーブルダクト室	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	3

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	タービン建物地下1階工具室, 封水回収ポンプ室, 復水系配管室用ハロゲン化物ボンベ出口ヘッダ管	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	4
										114.3	6.0	SUS304TP	5
							タービン建物地下1階工具室供給ライン分岐点 ～ タービン建物地下1階工具室	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP	6
										42.7	3.6	SUS304TP	7
							封水回収ポンプ室供給ライン分岐点 ～ 封水回収ポンプ室	5.2	40	114.3	6.0	SUS304TP	8
							復水系配管室供給ライン分岐点 ～ 復水系配管室	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	9

変 更 前						変 更 後						NO. *2	
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料		
—	—	—	—	—	—	消火系	グラウンド蒸気排ガス フィルタ室, SGT 配管 ダクト室用ハロゲン 化物ポンベ出口ヘッ ダ管	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	10
						グラウンド蒸気排ガス フィルタ室供給ライ ン分岐点 ～ グラウンド蒸気排ガス フィルタ室	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	11	
						SGT 配管ダクト室供給 ライン分岐点 ～ SGT 配管ダクト室	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	12	

変 更 前						変 更 後						NO. *2	
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料		
—	—	—	—	—	—	消火系	電動機駆動原子炉給 水ポンプ南西ケーブ ル室用ハロゲン化物 ボンベ出口ヘッダ管	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP	13
						電動機駆動原子炉給 水ポンプ南西ケーブ ル室供給ライン分岐 点 ～ 電動機駆動原子炉給 水ポンプ南西ケーブ ル室	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP	14	

変更前						変更後						NO. *2	
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料		
—						消火系	海水配管室, TCW 熱交換器室用ハロゲン化物ポンベ ~ TCW 熱交換器室, 海水配管室	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP	15
										114.3	6.0	SUS304TP	16

変更前						変更後						NO. *2
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	
		—				消火系 タービン建物南西側 階段室用ハロゲン化 物ボンベ ～ タービン建物南西側 階段室	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP	17

注記*1：公称値を示す。

*2：消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））に記載の四角内番号を示す。

第9-3-2-2-4-2-1~7 図 消火設備に係る主配管の配置を明示した図面（ハロゲン化物消火設備（タービン建物）） 別紙2

工事計画記載の公称値の許容範囲

〔ハロゲン化物消火設備（タービン建物）の主配管〕

管NO.1*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	42.7	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.6	±0.5mm	同上

管NO.2*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.4	±0.5mm	同上

管NO.3*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	76.3	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	5.2	±12.5%	同上

管NO.4*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	114.3	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	6.0	±12.5%	同上

管NO.7*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.9	±0.5mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

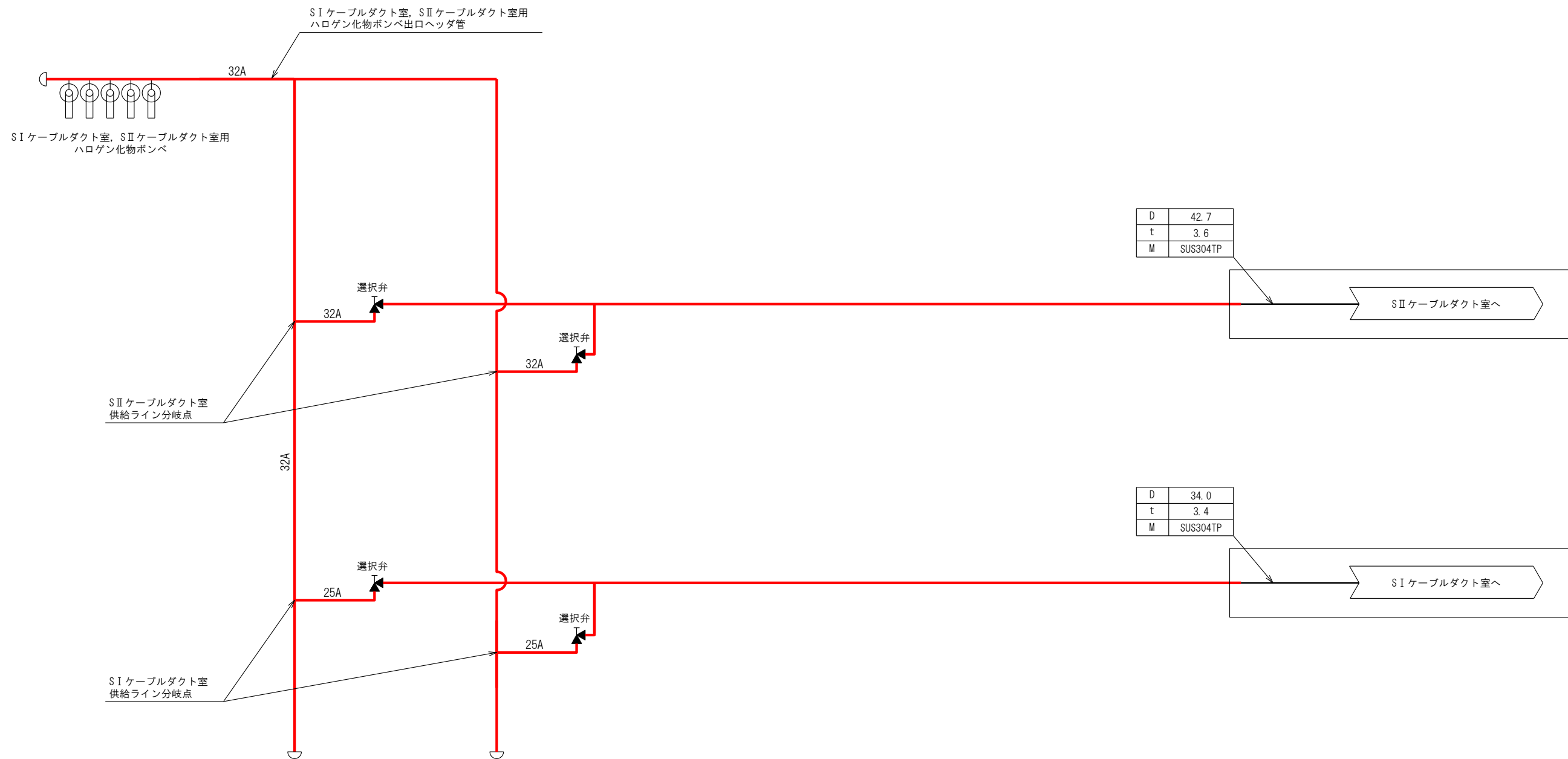
[ハロゲン化物消火設備（タービン建物）の主配管（続き）]

管NO.8*

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	48.6	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.7	±0.5mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

注記*：管の強度計算書のNO.を示す。



D	42.7
t	3.6
M	SUS304TP

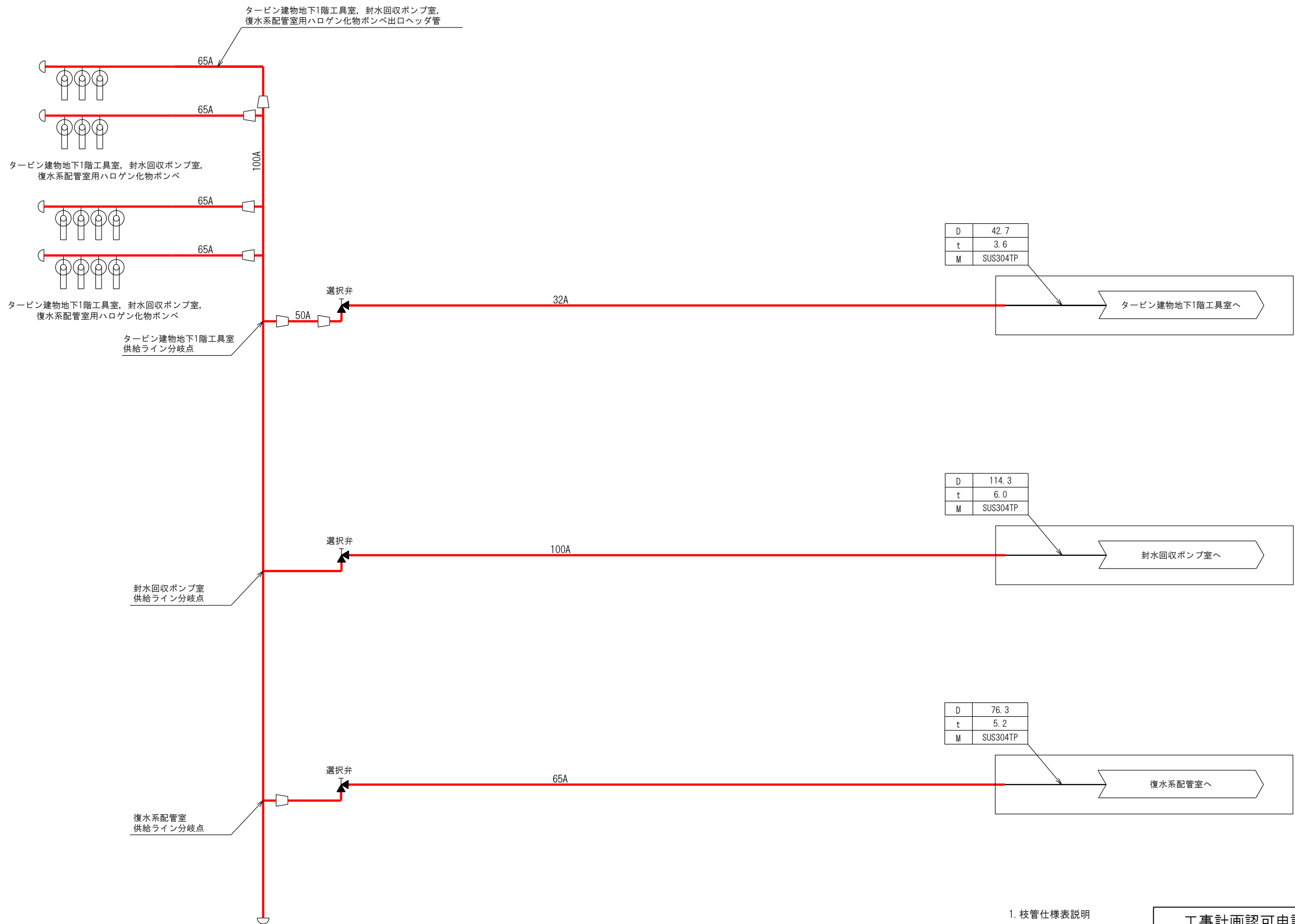
D	34.0
t	3.4
M	SUS304TP

— 火災防護設備のうち消火系（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（当該系統の申請範囲）

1. 枝管仕様表説明

D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

工事計画認可申請		第9-3-2-2-4-3-1図
島根原子力発電所第2号機		
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その1)	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-PJ01	1514

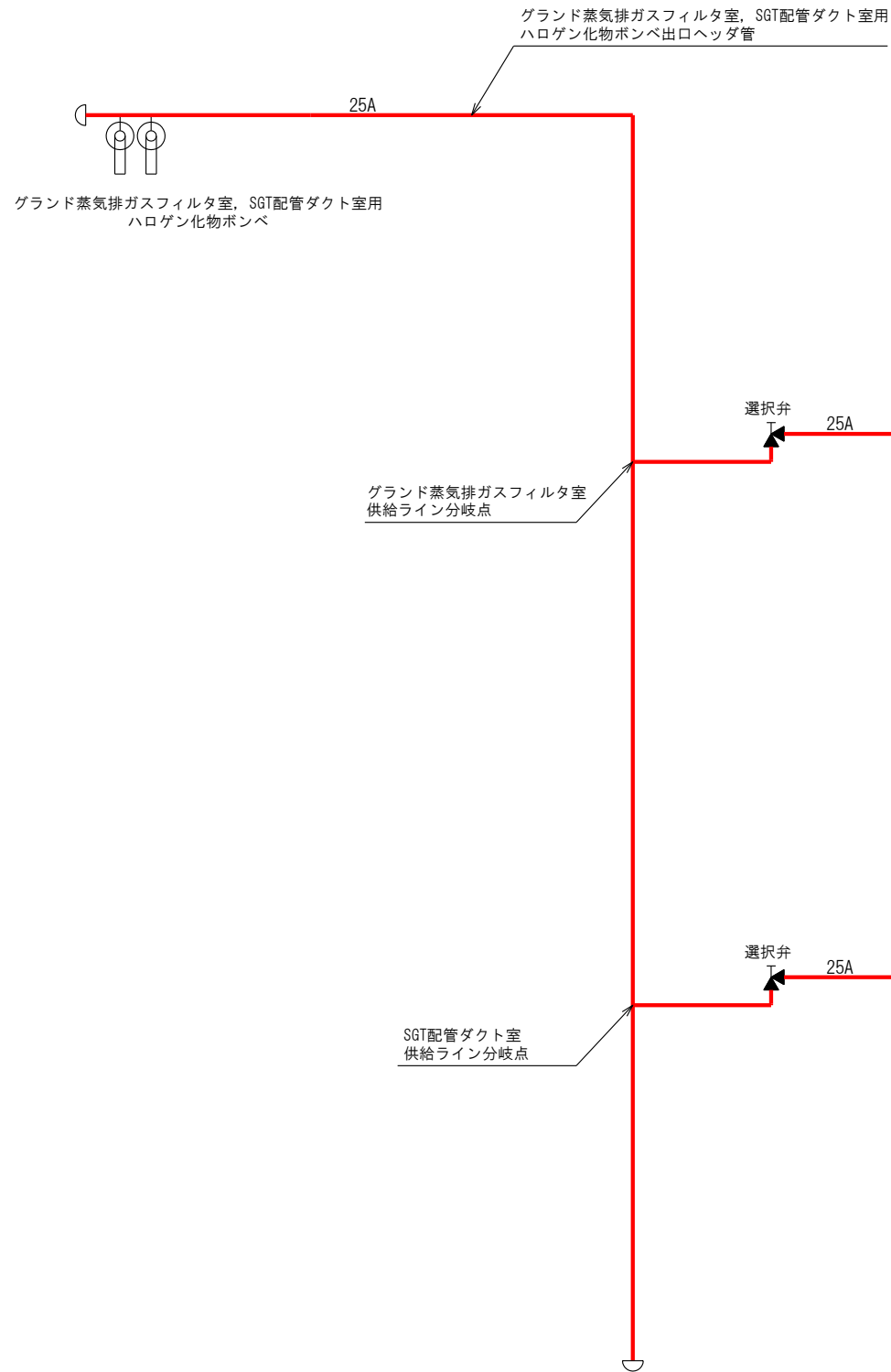


— 火災防護設備のうち消火系（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（当該系統の申請範囲）

1. 枝管仕様表説明

D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-3-2図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その2)
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-PJ02 1514



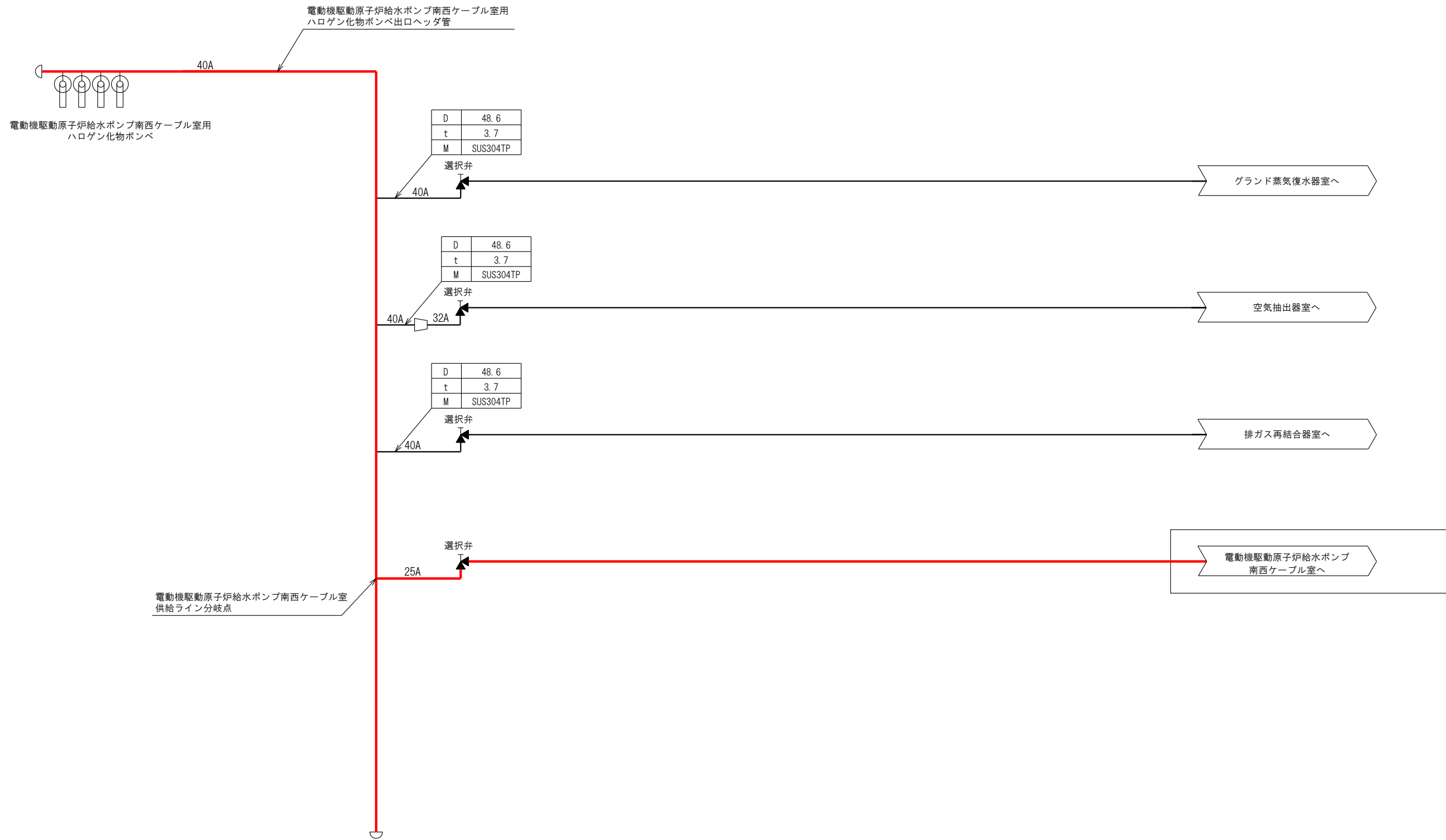
D	34.0
t	3.4
M	SUS304TP

D	34.0
t	3.4
M	SUS304TP

1. 枝管仕様表説明

D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

工事計画認可申請		第9-3-2-2-4-3-3図
島根原子力発電所第2号機		
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その3)	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-PJ03	1514

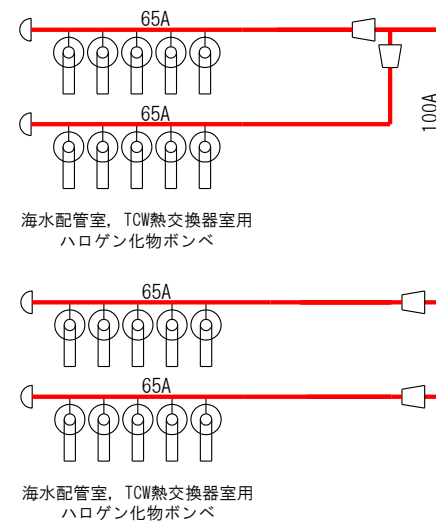


— 火災防護設備のうち消火系（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（当該系統の申請範囲）

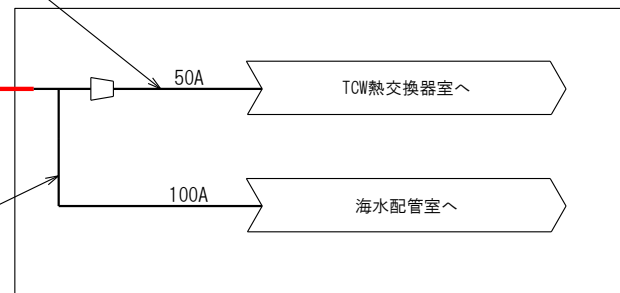
1. 枝管仕様表説明

D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

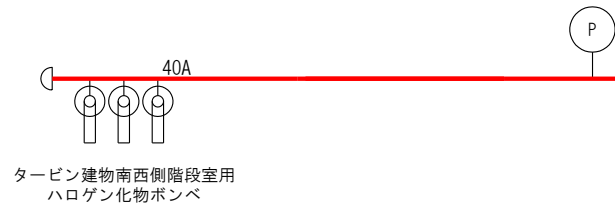
工事計画認可申請		第9-3-2-2-4-3-4図
島根原子力発電所第2号機		
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その4)	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-PJ04	1514



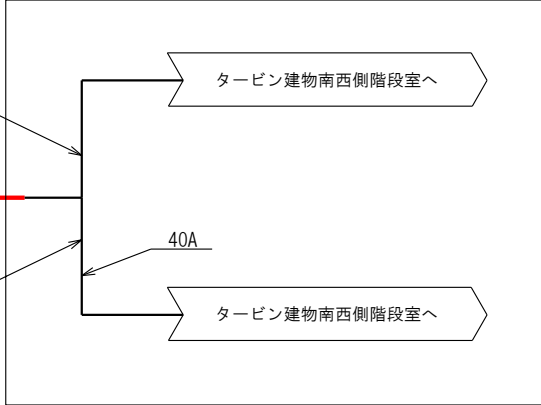
D	60.5
t	3.9
M	SUS304TP



D	114.3
t	6.0
M	SUS304TP



D	48.6
t	3.7
M	SUS304TP



D	48.6
t	3.7
M	SUS304TP

1. 枝管仕様表説明

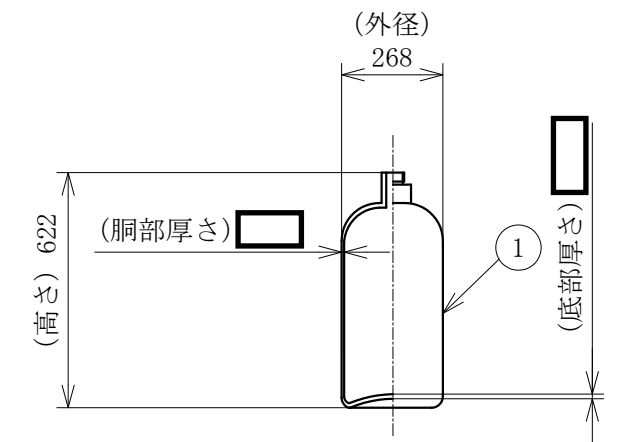
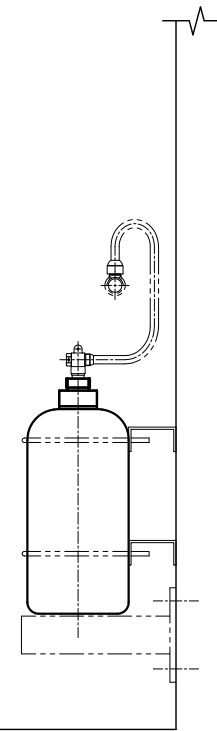
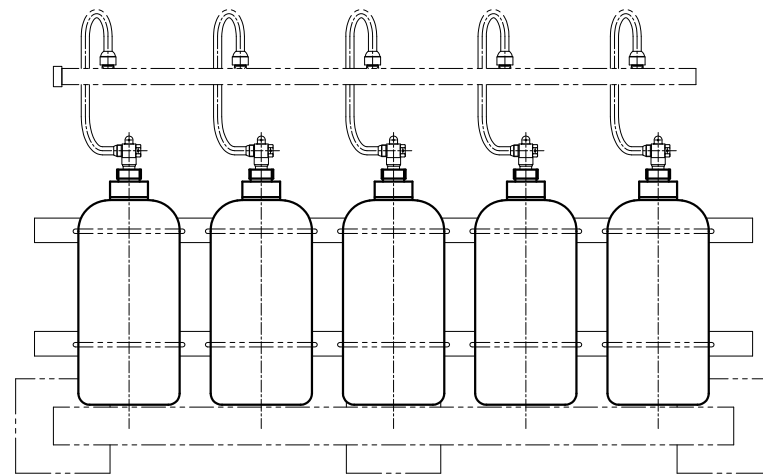
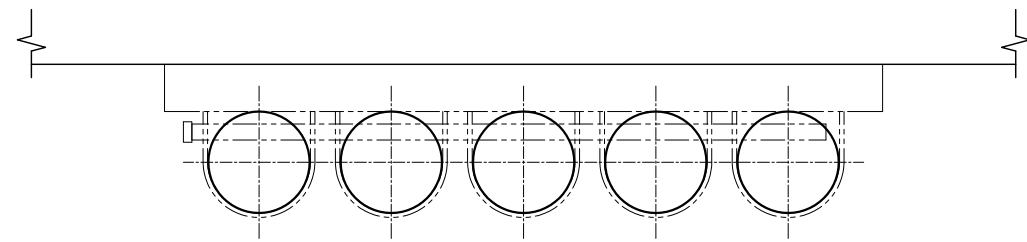
D	外径	mm
t	厚さ	mm
M	材料	

— 火災防護設備のうち消火系（ハロゲン化物消火設備（タービン建物））（当該系統の申請範囲）

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-3-5図
島根原子力発電所第2号機	
名称	消火設備系統図 (ハロゲン化物消火設備(タービン建物)) (その5)
中国電力株式会社	

1	ハロゲン化物ポンベ*	5	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記*：24ℓ/個を示す。



注1：寸法はmmを示す。




注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-4-1図
島根原子力発電所第2号機	
名称	SIケーブルダクト室, SIIケーブルダクト室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-KJ01 1X04

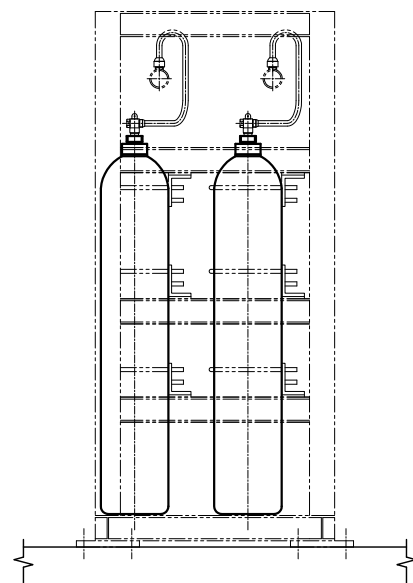
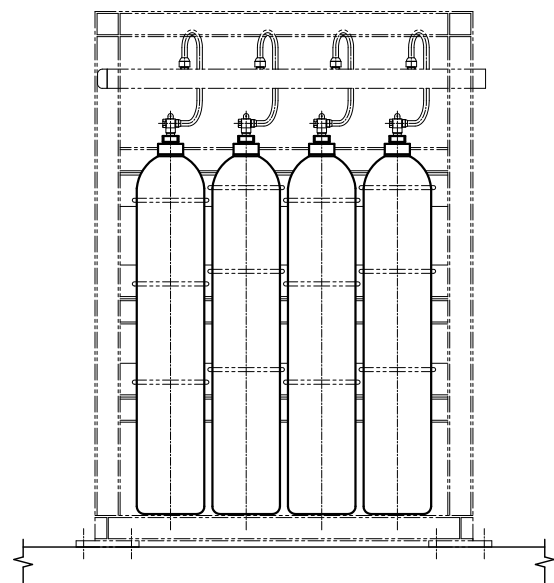
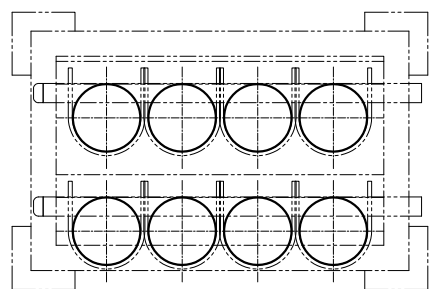
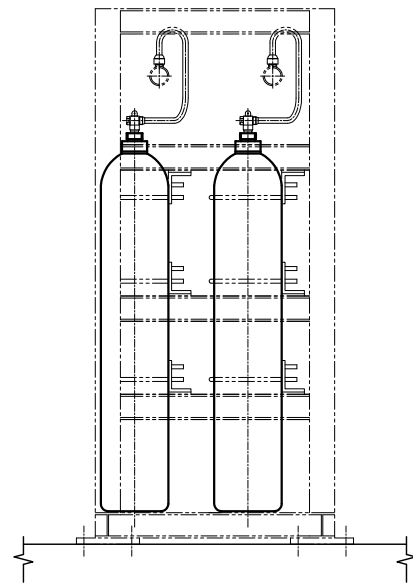
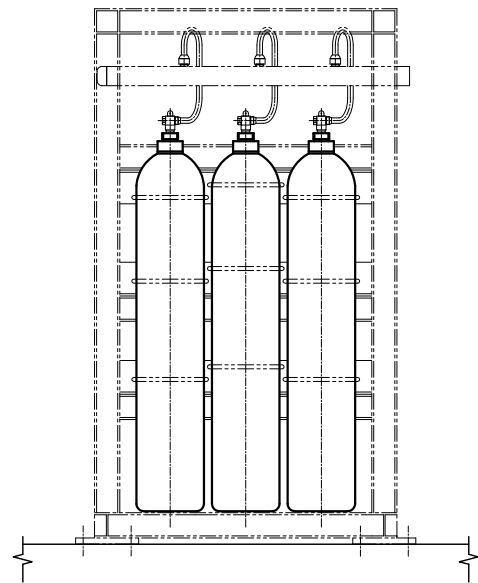
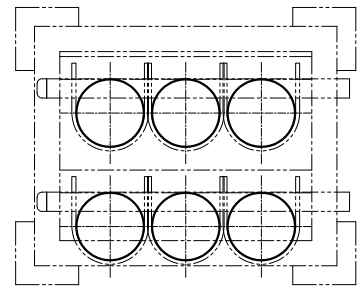
第 9-3-2-2-4-4-1 図 S I ケーブルダクト室, S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ポンベ構造図
別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[S I ケーブルダクト室, S II ケーブルダクト室用ハロゲン化物ポンベ]

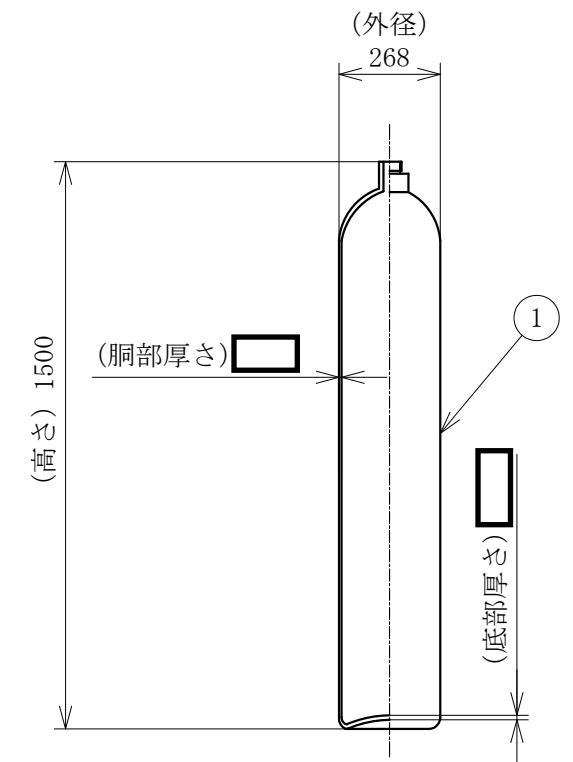
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
高さ	622	±10mm	同上
胴部厚さ			同上
底部厚さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



1	ハロゲン化物ポンベ*	14	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。





注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-4-2図
島根原子力発電所第2号機	
名称	タービン建物地下1階工具室, 封水回収ポンプ室, 復水系配管室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-KJ02 1X04

第 9-3-2-2-4-4-2 図 タービン建物地下 1 階工具室，封水回収ポンプ室，復水系配管室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

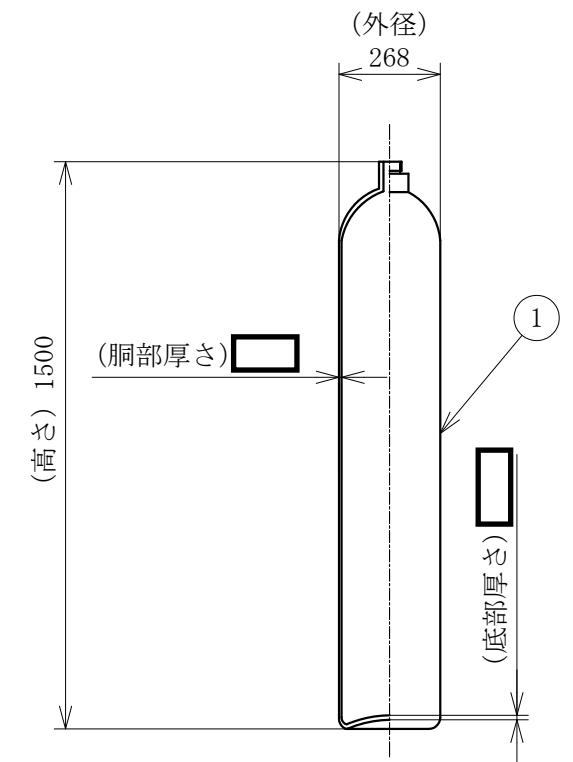
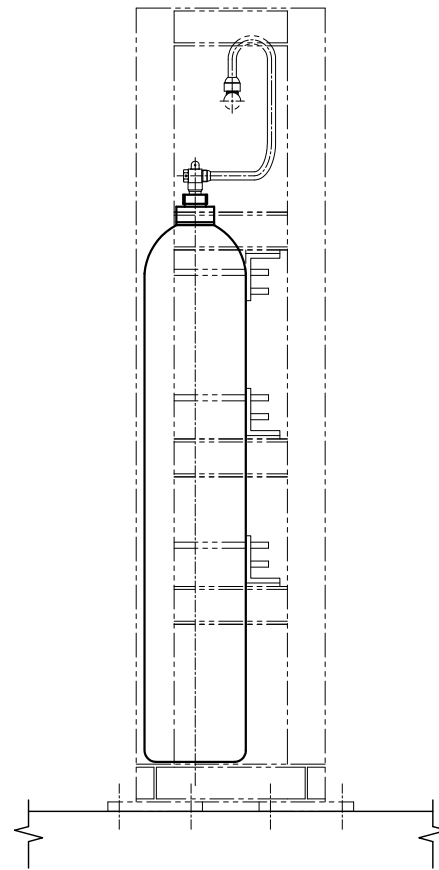
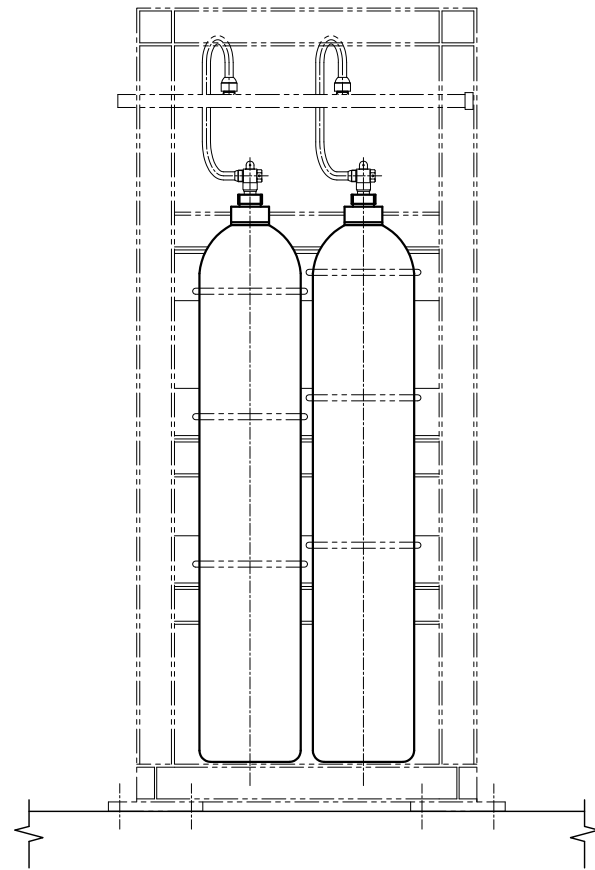
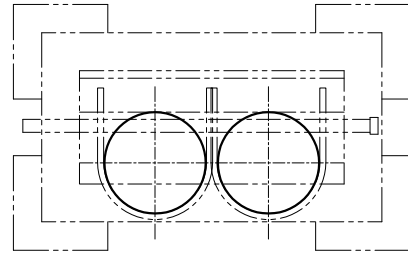
[タービン建物地下 1 階工具室，封水回収ポンプ室，復水系配管室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ			同上
底部厚さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

1	ハロゲン化物ポンベ*	2	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。





注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-4-3図	
島根原子力発電所第2号機		
名称	グラウンド蒸気排ガスフィルタ室, SGT配管ダクト室用 ハロゲン化物ポンベ構造図	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-KJ03	1X04

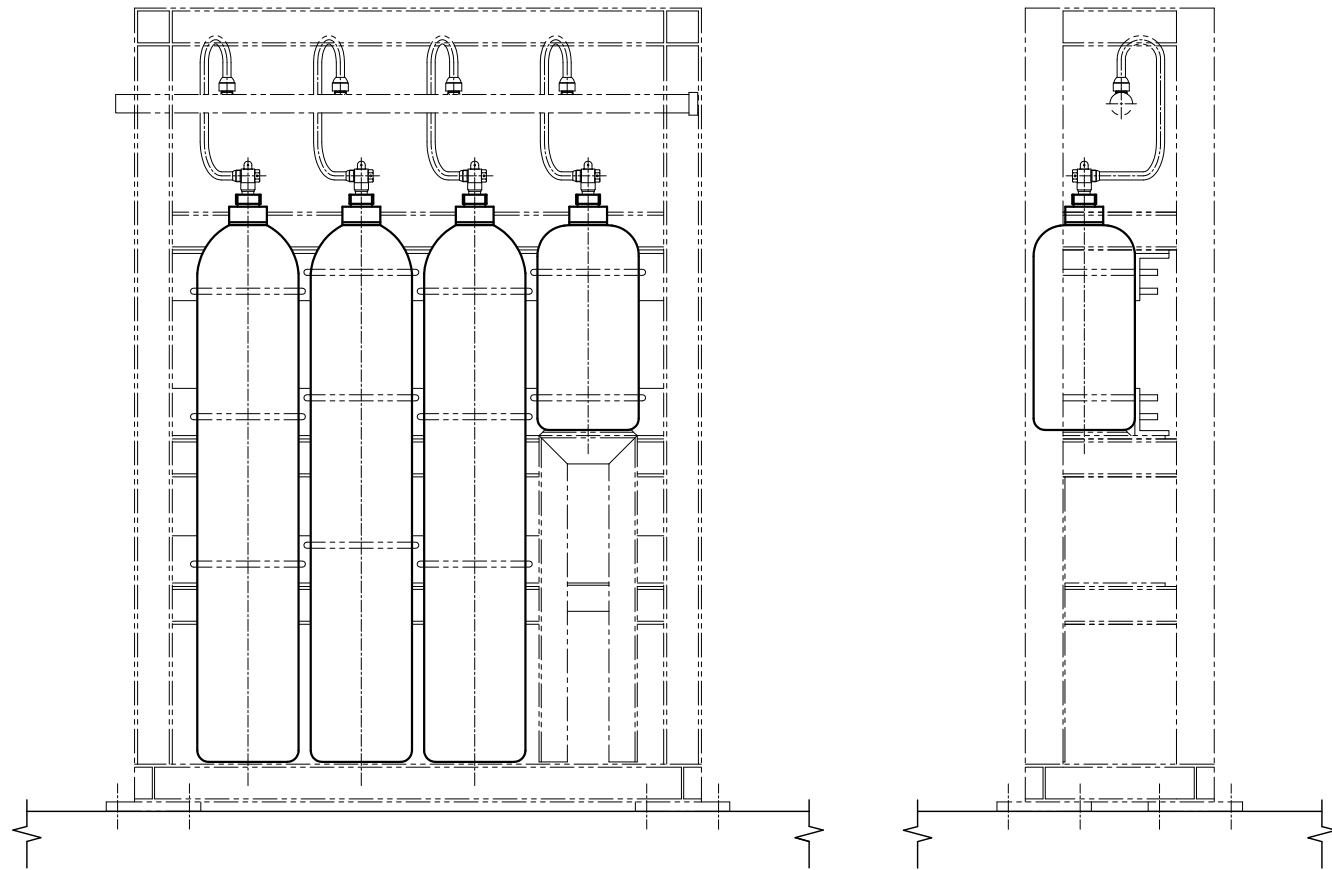
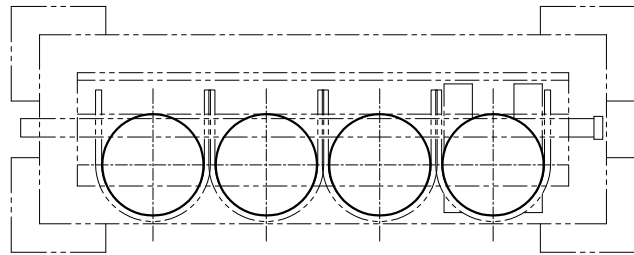
第 9-3-2-2-4-4-3 図 グランド蒸気排ガスフィルタ室, SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[グランド蒸気排ガスフィルタ室, SGT 配管ダクト室用ハロゲン化物ポンベ]

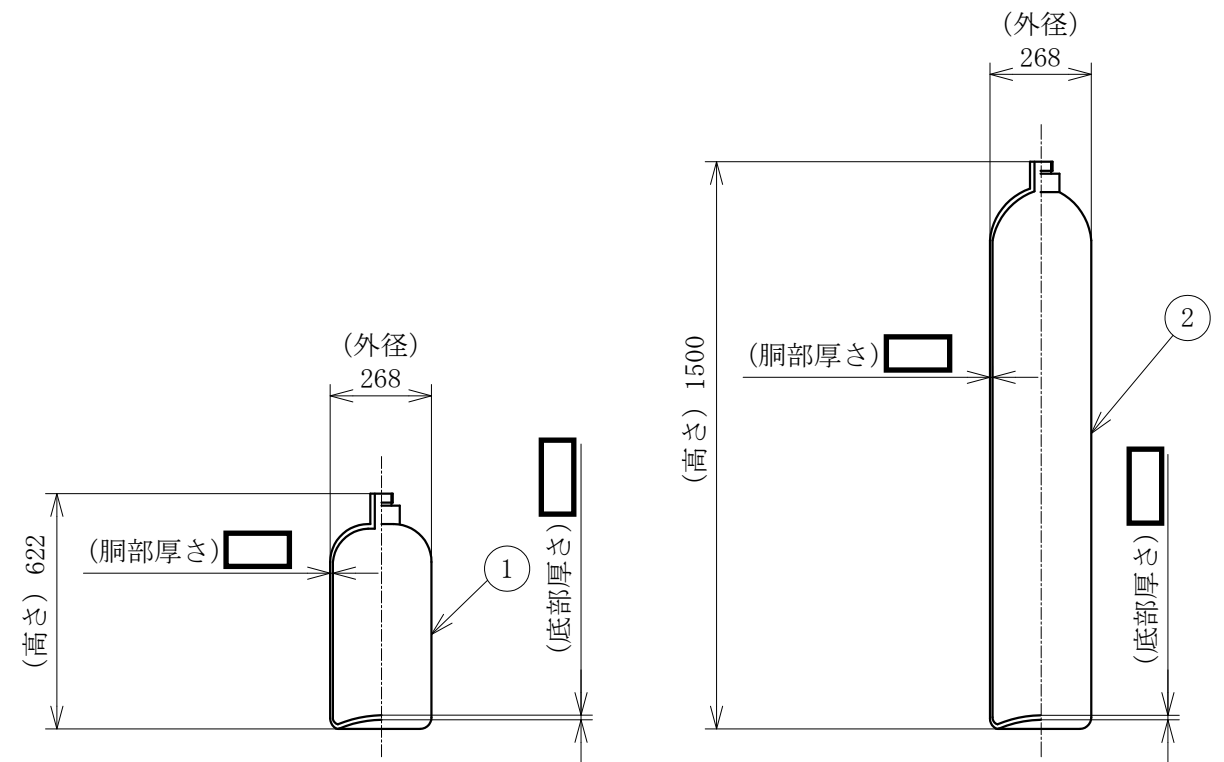
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ			同上
底部厚さ			同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値



2	ハロゲン化物ポンベ*2	3	SMN433
1	ハロゲン化物ポンベ*1	1	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記*1: 240/個を示す。
 *2: 680/個を示す。







注1: 寸法はmmを示す。
 注2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-4-4図	
島根原子力発電所第2号機		
名称	電動機駆動原子炉給水ポンプ 南西ケーブル室用 ハロゲン化物ポンベ構造図	
中国電力株式会社		
FP	NS2FP-KJ04	1X04

第 9-3-2-2-4-4-4 図 電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ポンベ構造図
別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

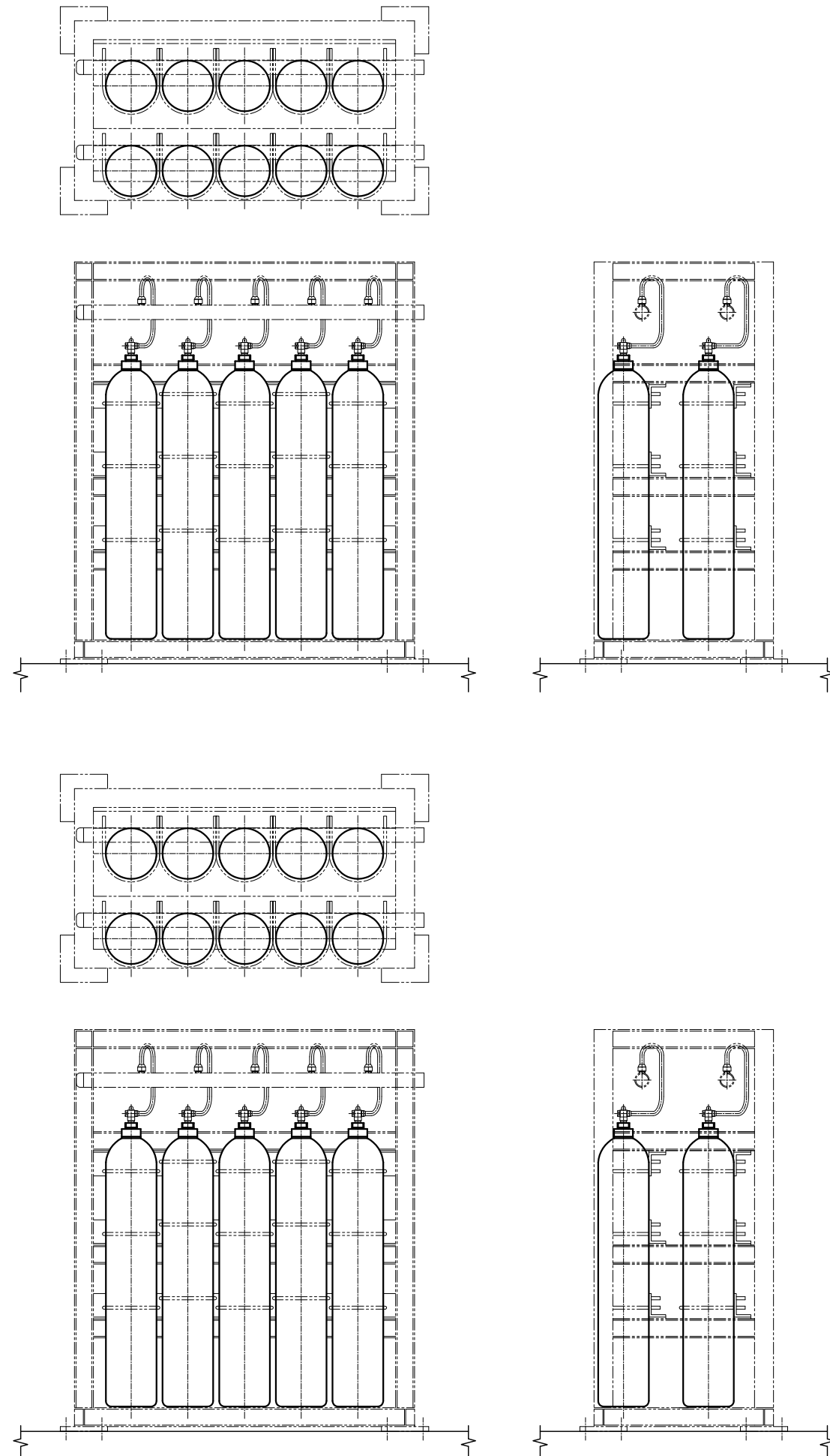
[電動機駆動原子炉給水ポンプ南西ケーブル室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
高さ	① 622* ¹	±10mm* ¹	同上* ¹
	② 1500* ²	±10mm* ²	同上* ²
胴部厚さ			同上
底部厚さ			同上

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値

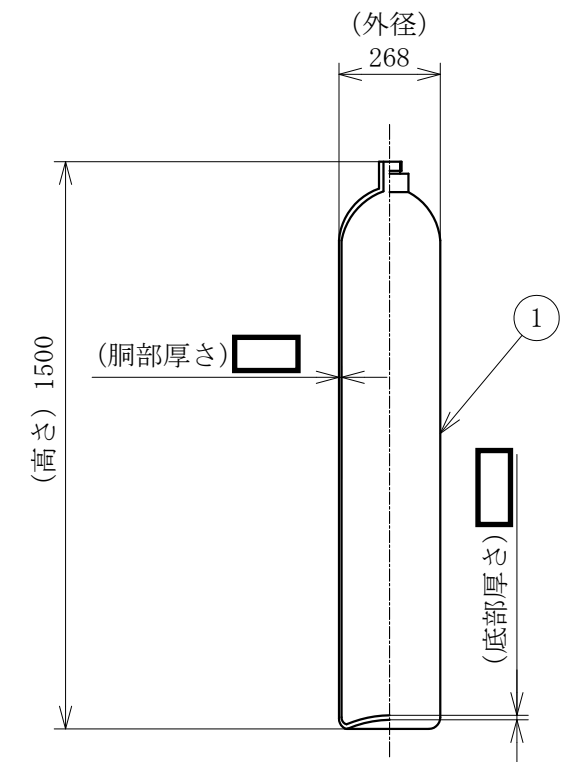
注記*1：ハロンポンベ（24ℓ/個）を示す。

*2：ハロンポンベ（68ℓ/個）を示す。



1	ハロゲン化物ポンベ*	20	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。
注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-4-5図
島根原子力発電所第2号機	
名称	海水配管室, TCW熱交換器室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-KJ05 1X04

第 9-3-2-2-4-4-5 図 海水配管室, TCW 熱交換器室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙
 工事計画記載の公称値の許容範囲

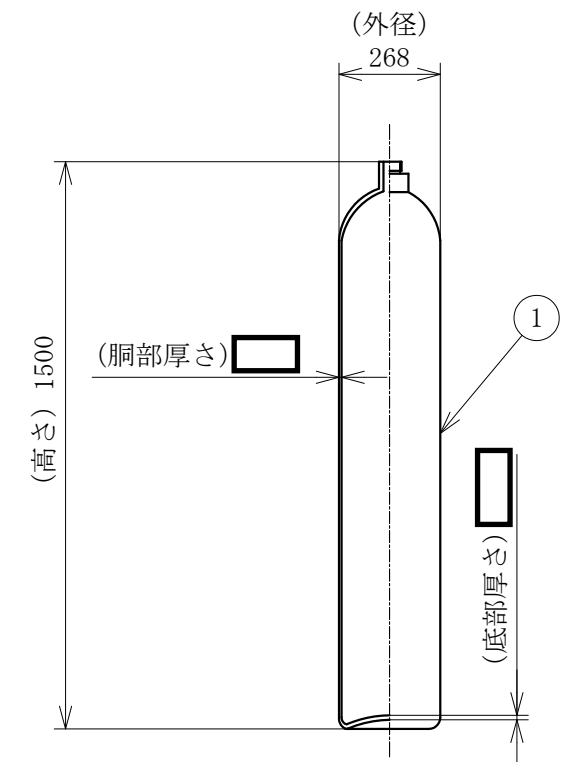
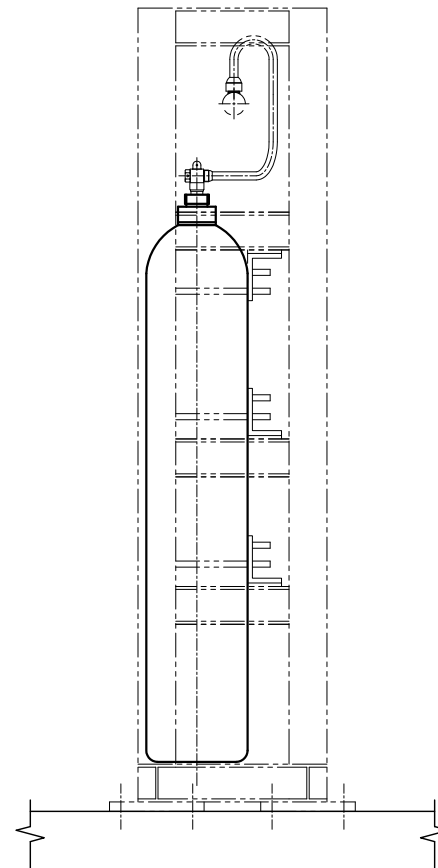
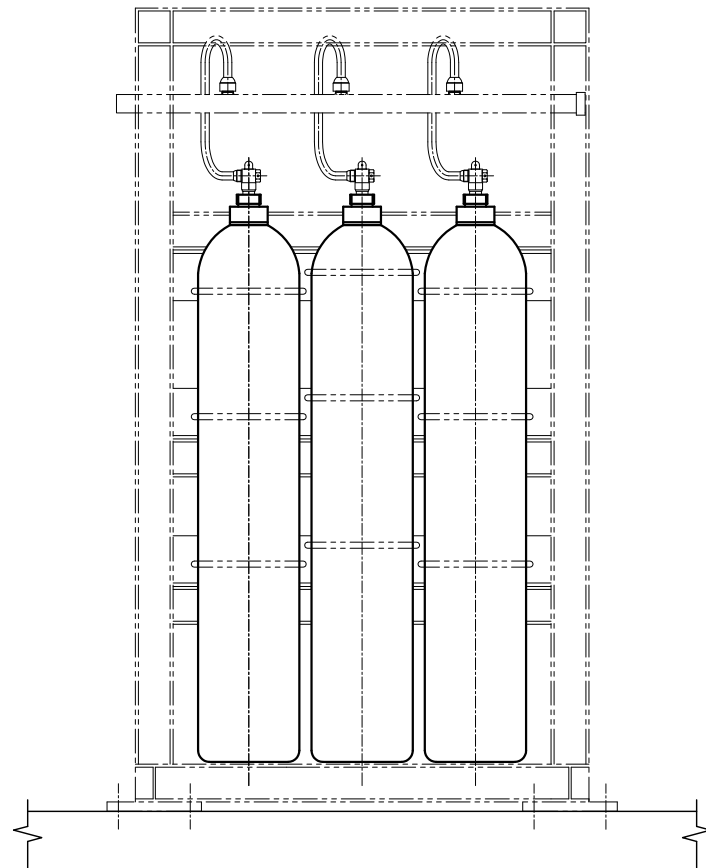
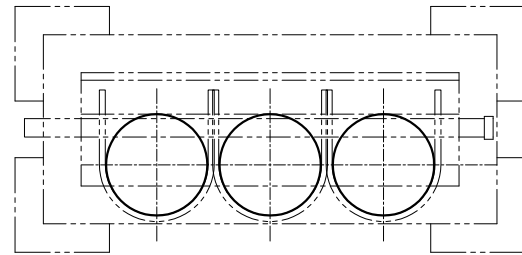
[海水配管室, TCW 熱交換器室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上
底部厚さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上

注: 主要寸法は, 工事計画記載の公称値

1	ハロゲン化物ポンベ*	3	SMN433
番号	品名	個数	材料
部品表			

注記* : 68ℓ/個を示す。



注1 : 寸法はmmを示す。

注2 : 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-3-2-2-4-4-6図
島根原子力発電所第2号機	
名称	タービン建物南西側階段室用 ハロゲン化物ポンベ構造図
中国電力株式会社	
FP	NS2FP-KJ06 1X04

第 9-3-2-2-4-4-6 図 タービン建物南西側階段室用ハロゲン化物ポンベ構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[タービン建物南西側階段室用ハロゲン化物ポンベ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	268	±1%	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	1500	±10mm	同上
胴部厚さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上
底部厚さ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値